

タチカワブラインドグループ  
統合報告書 2023



## 1. タチカワブラインドグループとは

タチカワブラインドグループのパーパス・経営基本方針・ビジョン	02
大切にしている価値観の実現に向けて	03
価値創造のあゆみ	04
事業概要(一目でわかるタチカワブラインドグループ)	05
製品概要	
● 室内外装品関連事業	06
● 減速機関連事業・駐車場装置関連事業	07

## 2. 価値創造ストーリー

トップメッセージ	08
価値創造プロセス	11
サステナビリティ基本方針・サステナビリティ推進体制	12
マテリアリティ	13
マテリアリティの目標・KPI	14
リスクと機会	16
ビジネスモデル	
● 室内外装品関連事業	17
● 減速機関連事業	19
● 駐車場装置関連事業	20

## 3. 戦略(中期経営計画)

中期経営計画の概要	21
事業戦略	
● 室内外装品関連事業	22
● 減速機関連事業・駐車場装置関連事業	23
財務資本戦略・IR戦略	24

## 4. サステナビリティ(ESG)の取組み

環境(E)への主な取組み	26
● マテリアリティ「事業活動における環境負荷低減」	
社会(S)への主な取組み	
● マテリアリティ「安心・安全・快適で環境に配慮した住空間の提供」	28
● マテリアリティ「働きやすく働きがいのある職場環境の実現」	30
● マテリアリティ「ステークホルダーとの協働とサプライチェーンマネジメント」	31
● マテリアリティ「技術力を通じた多様な産業と暮らしへの貢献」	32
ガバナンス(G)への主な取組み	33
● マテリアリティ「持続的成長に向けたガバナンスの充実・強化」	

## 5. 会社データ

コーポレート・ガバナンス体制	34
役員一覧	35
主要財務データ(連結)	36
ESGデータ	37
会社概要	38
株式情報	39

### 編集方針

本統合報告書は、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに、当社グループの価値創造ストーリーをお伝えすることを目的としています。

初の発行となる今回は、当社グループについてのご理解を深めていただくべく、「当社グループらしさ」や「重要性」を意識して、できるだけ簡潔にお伝えすることを心掛けています。本報告書を通じて、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを深化させ、さらなる企業価値向上を目指します。

### 報告対象

立川ブラインド工業株式会社および連結子会社(当社グループ)

### 報告期間

2022年度(2022年1月1日～2022年12月31日)  
※一部当該期間の前後の活動に関する記述も含まれます。

### 参照ガイドライン

本統合報告書は、以下のフレームワークおよびガイドラインを参考にしています。

- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」
- 「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)最終報告書」

### 将来の見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

# タチカワブラインドグループのパーパス・経営基本方針・ビジョン

当社グループでは創業者の立川孟美が大切にしてきた信条を「パーパス」として設定し、「経営基本方針」に基づいて事業活動を行っています。また、中期経営計画において「タチカワビジョン 2025 ～継続と進化～」を掲げ、企業価値向上に向けた戦略を実行しています。当社は、「安心・安全・快適」を届けるインテリアメーカーとして、広く社会に貢献します。

## パーパス

「時代の要請に応え、住空間におけるインテリアを創造し、  
美と憩いを通じて社会に貢献する。」

## 経営基本方針

- 建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する。
- 品質及び価格で十分な競争力を有する製品を生産する。
- 主たる製品において、シェアの大半を占有する。
- 会社の繁栄と社員個人の幸福が一致する経営を行う。

## 中期ビジョン 中期経営計画

タチカワビジョン 2025 ～継続と進化～

詳細 ▶ P.21～25

# 大切にしている価値観の実現に向けて

当社グループの価値観は、経営基本方針の一つである「建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する」にあります。「建築物内外の生活環境の改善」とは、「家庭・企業・都市の中に次代の生活文化を創造すること」と考えており、室内外装品、減速機、駐車場装置の3つの関連事業を通じて、実現していきます。

大切にしている価値観

## 「建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する」

### 家庭・企業・都市の中に次代の生活文化を創造する

家庭  
(HOME)

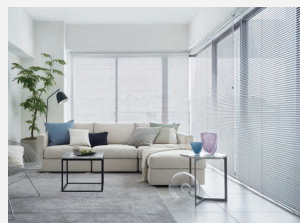
企業  
(OFFICE)

都市  
(PUBLIC)

#### 室内外装品関連事業

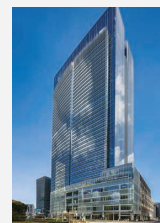
##### 光を演出する、お部屋をコーディネートする

本当にリラックスでき、快適さを実感できる空間とはなにか。私たちは、性能、素材、色彩など、さまざまな視点からその本質を常に追求しています。



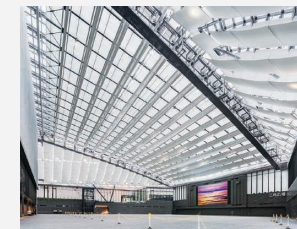
##### 高度化するビジネス空間を、もっと快適に

オフィスで働く人たちが仕事に専念できる環境をつくるために、優れた操作性や省エネ効果の高いブラインドなどを取り揃え、あらゆる快適な空間づくりの提案を行っています。



##### 公共施設にふさわしい快適性を追求

当社のブラインドは、庁舎やホテル、学校、病院、スポーツ施設など都市のシンボルとなる建築物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入し、多くの人々の暮らしに貢献しています。



#### 減速機関連事業

##### 産業から暮らしの分野の産業用機械の動力源を支え、省人化に貢献

減速機とは、歯車で動力(モータ)の回転速度を減じて大きな力を出す機械装置であり、産業用機械の動力源を担っています。当社の製品は産業分野から暮らしの分野まで、幅広い分野で使用されており、近年では工場の生産システム自動化(FA)ニーズの高まりを受け、産業用ロボットや無人搬送台車などの駆動部分、医療・介護分野の機器等幅広く使用されています。



#### 駐車場装置関連事業

##### 都市における駐車場問題の解決や省スペースの有効活用に貢献

機械式立体駐車場とは、限られたスペースを有効活用し、複数の車を駐車できる装置です。主力製品である「パズルタワー」は、独自技術である「くし歯式」を採用しており、低騒音・低振動、耐震性、省エネを実現しています。近年は、都市再開発の駐車場建て替え需要や、海外観光客の増加(インバウンド需要)によるホテル併設の機械式立体駐車場のニーズに対応しています。



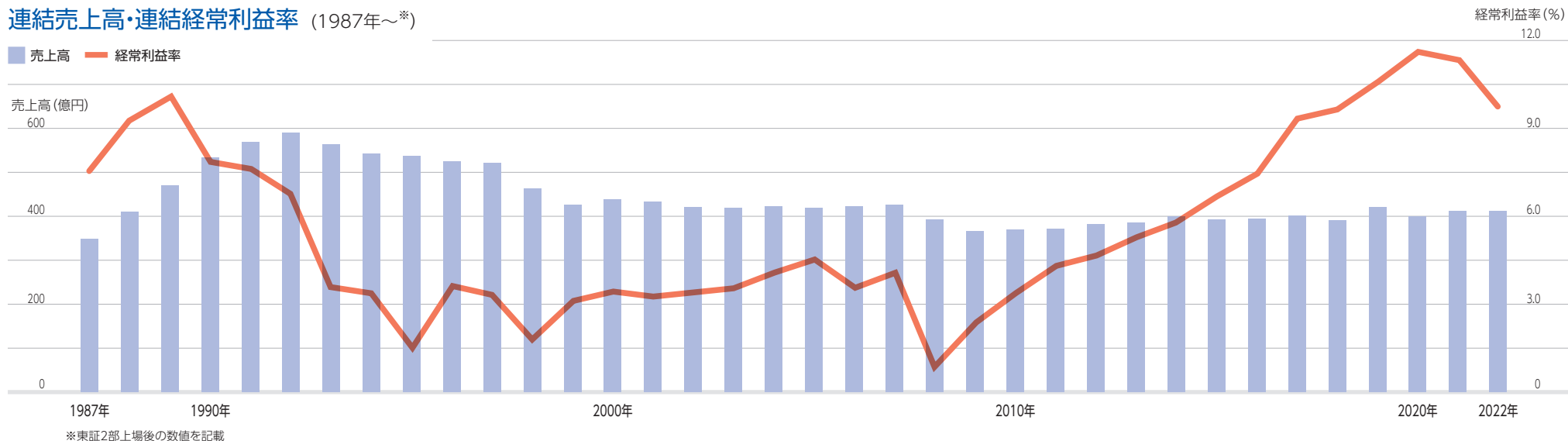
## 価値創造のあゆみ

当社グループは、戦後～現在にわたって、時代の要請や社会のニーズを的確に捉え、人々の生活文化の創造に貢献してきました。生産システムの構築に向けた投資を早くから実行し、多品種・短納期・オーダーメイドのビジネスモデルを築き上げました。2010年代以降はマーケティングをさらに強化し、高機能・高付加価値製品を生み出すことで利益率の改善を実現してきました。

### ターニングポイント



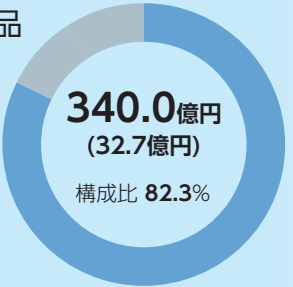
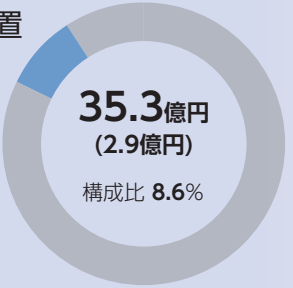
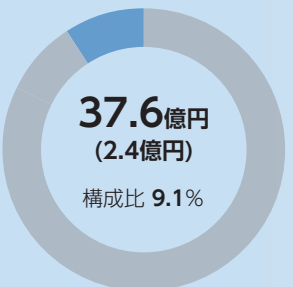
### 連結売上高・連結経常利益率 (1987年～※)



# 事業概要(一目でわかるタチカワブラインドグループ)

当社グループは、建築物の開口部、とりわけ窓まわり製品を事業の核とする建築内装品の総合メーカーとして室内外装品関連事業、機械式立体駐車場を扱う駐車場装置関連事業、変速機・減速機の製造販売を行う減速機関連事業の3事業を展開しています。ブラインド・スクリーン類における市場シェアは約40%を占め、業界No.1のシェアを誇っています。

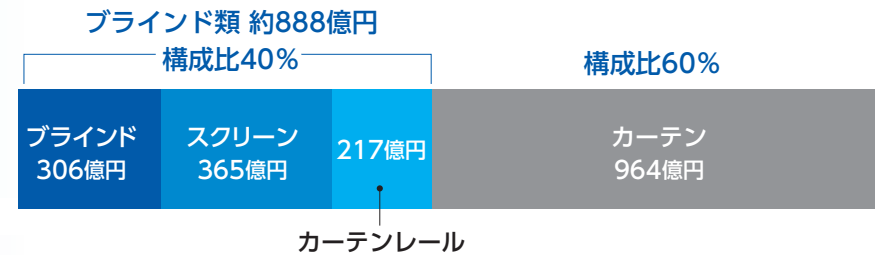
## ■ 事業概要

売上高(営業利益) 2022年12月期	事業概要	主な製品
<b>室内外装品 関連事業</b>  <p>340.0億円 (32.7億円) 構成比 82.3%</p>	各種ブラインド、 可動式間仕切り等の製造 ならびに販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ブラインド (ヨコ型・タテ型)</li> <li>●ロールスクリーン</li> <li>●間仕切り</li> <li>●カーテンレール</li> </ul>
<b>駐車場装置 関連事業</b>  <p>35.3億円 (2.9億円) 構成比 8.6%</p>	機械式立体駐車装置の 製造・販売ならびに保守点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エレベータ方式・ くし歯式立体駐車場</li> <li>●地下式駐車場</li> <li>●軽自動車用立体駐車場</li> </ul>
<b>減速機 関連事業</b>  <p>37.6億円 (2.4億円) 構成比 9.1%</p>	減速機類の製造ならびに 販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>●汎用減速機 (ギヤードモータ)</li> <li>●特殊減速機</li> <li>●シャッター駆動装置</li> </ul>

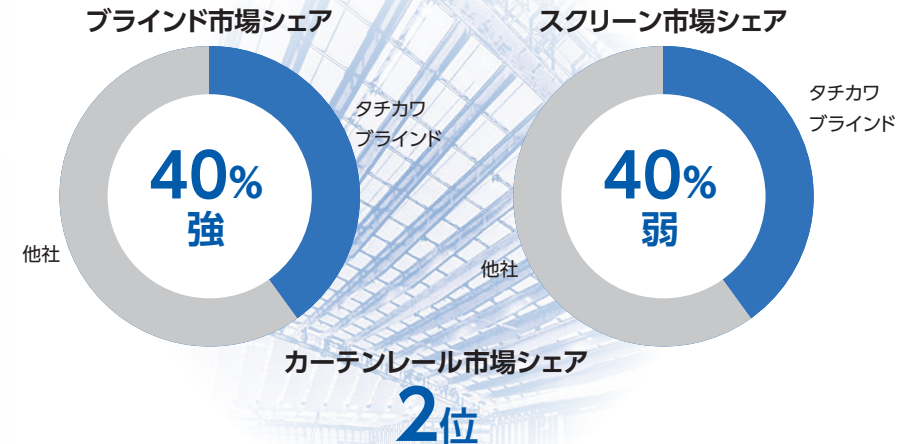
## ■ 窓まわりインテリア市場におけるポジション

### 2021年度窓まわりインテリア市場

卸売約 1,900億円 (内、ブラインド類 約888億円)



### ブラインド類、スクリーン類で シェアNo.1



出所)日本インテリア協会「2021年度のインテリア事業の概況」他より推定

## 製品概要 室内外装品関連事業

当社グループは、窓まわり・間仕切製品のリーディングカンパニーとして、豊富なバリエーションを取り揃え、「住宅」「オフィス」「公共施設」向けなど様々な用途に対応し、快適な環境づくりにお応えしています。近年は、遮蔽性などの付加価値の高い高機能製品を開発し、製品ラインナップを拡充しています。

### ■ ヨコ型ブラインド

#### パーフェクトシルキー



遮蔽性・意匠性に優れた最上級のヨコ型ブラインド。スラットにコードを通す穴がなく、光漏れを低減。遮熱性にも優れています。

#### フォレティア・フォレティアエグゼ

天然木を使用した木製ブラインド。木目が美しく意匠性に優れています。フォレティアエグゼはスラットにコードを通す穴をなくし意匠性・遮蔽性に優れています。



### ■ ロールスクリーン

#### ラルクシールド



生地デザイン・カラー・機能が豊富なロールスクリーン。生地を上下に昇降させることで採光を自由に調整。ワイドサッシから小窓まで幅広く対応します。

#### 調光ロールスクリーン ルミエ

前後の2枚のレースの間にドレープ生地を配した立体構造の調光ロールスクリーン。わずかな操作で採光と眺望をコントロールできます。



### ■ 間仕切り

#### プレイス



温かみを感じる木目調フレームが特長の間仕切り。シーンや用途に応じて選べる格納方式と出入りの方法をご用意しています。

#### プレイススウィング

スリムなフレームのスタイリッシュなデザインが特長の間仕切り。軽快な操作感で開放的な空間づくりをサポートします。



### ■ タテ型ブラインド

#### ラインドレープ



スラットのデザイン・カラー・機能が豊富な住宅向けのタテ型ブラインド。スラットの回転と左右の開閉ができ、腰高窓からワイドサッシまで幅広く対応します。

### ■ プリーツスクリーン

#### ゼファー・フィュー・ペルレ



プリーツ状の生地を上下に開閉することで採光をコントロールするプリーツスクリーン。すっきりしたフォルムでワイドサッシから小窓まで幅広く対応。

### ■ カーテンレール



デザイン性・機能性・静音性に優れたカーテンレールやピックアップレールなど、用途や部位に応じて選べる豊富なラインナップとカラーバリエーションをご用意。

## 製品概要 減速機関連事業・駐車場装置関連事業

当社の歯車技術を活かした減速機(ギヤードモータ)は、工場や工作機械をはじめとした産業分野、医療や介護・福祉現場に代表される暮らしの分野など、様々なシーンで使われています。そのため、用途に合わせて応用可能な、多彩なバリエーションの減速機を揃えています。

また、減速機で培った技術を応用して、業界トップクラスの入出庫速度を誇る機械式立体駐車場は、環境配慮と利便性に優れており、地震に強く安全性の高い耐震設計が特長です。

### ■ 減速機関連事業

減速機とは歯車で動力(モータ)の回転速度を減じて大きな力を出す機械装置です。出力から減速比に比例したトルク(回転力)を得ることができます。

当社の減速機は、歯車技術を応用し、産業から暮らしの分野まで、幅広い分野で使用されています。VXシリーズ(平行軸)、VCシリーズ(直交軸)や過負荷保護装置付の減速機を標準ラインナップし、それら標準型のアレンジ対応、またこれらの歯車技術を応用した各種装置や機器を設計・製造しています。



ギヤードモータ  
(VC series VX series)

#### 標準仕様

- ・トップランナー基準対応\*
- ・インバータによる可変速運転
- ・ブレーキ手動解放装置付き
- ・異電圧対応
- ・防水対応(IP65)\*一部機種のみ
- ・低騒音・剛性・長寿命

\*トップランナー基準対応:省エネ法に基づくエネルギー消費効率の基準値をクリアしたモータ(モータ出力0.75kw以上が対象)

#### 食品機械向け仕様

- ・H1グリース(食品機械用)
- ・ステンレス出力軸
- ・抗菌塗装
- ・ファンレスモータ(微粉体飛散防止)

### ■ 駐車場装置関連事業

当社は、くし歯式など、独自の技術をベースに、様々な状況に対応できるパーキングシステムを開発しています。都市再開発事業から、ホテル、福祉施設、病院、高層集合住宅などあらゆるニーズに付加価値の高い技術・製品をご提供できるよう豊富なラインナップを揃えています。

#### タワー式パーキングシステム (パズルタワー)



- ・「パズルタワー」は、業界に先駆けてパレットレスを実現した、理想的なエレベータ方式・くし歯式です。
- ・くし歯式の獨創性あふれる技術開発により、比類のないハイスピードな入出庫をはじめ、低騒音・低振動、耐震性、省エネを実現しています。
- ・横行装置は高い免震効果を発揮し、東日本大震災はじめ各地大地震での車両落下ゼロ件でした。

ハイスピード  
入出庫

省エネ・省資源

耐震構造  
低騒音・低振動

安全性

#### SUPER PUZZLE GS (地下式パーキングシステム)

地下に走行台車をプラスし、パズルタワーのくし歯式を最大限応用した製品が「スーパーパズルGS」です。くし歯式のため、連続入出庫処理が迅速かつ安全に対応できます。



地下スペースの  
有効活用

ハイスピード  
入出庫

GS/耐力壁に対応

低騒音・低振動



# トップメッセージ



代表取締役社長  
**池崎久也**

## 1. 中期経営計画「タチカワビジョン 2025 ～継続と進化～」の公表

当社グループは、2023年2月に中期経営計画「タチカワビジョン 2025 ～継続と進化～」を公表しました。本中期経営計画のビジョンである「継続と進化」には、経営基本方針をはじめとして、当社グループが創業より大切にしてきた価値観や考え方の良い部分については“継続”し、時代や社会のニーズに合わせて変化が必要な部分については“進化”させていく、という想いを込めています。

では、「継続と進化」をテーマに、当社グループがどのようにサステナビリティを実現していくかについて、ステークホルダーの皆さまにお伝えします。

## 2. 時代のニーズに応じたものづくりとマーケティング

### —時代のニーズに応じたものづくり—

当社グループの経営基本方針の1項目である「建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する。」は、創業当時から変わらない私たちの価値観を表しており、今後も事業活動の軸になることは変わりません。一方で、時代が変化するにつれ、企業の社会貢献の形も変化してきていると感じています。従来はいわば“物が良ければ売れる”時代でしたが、今の時代はそれだけではステークホルダーの皆さまを幸福にすることはできません。時代のニーズを的確に捉えた付加価値の高い製品を生み出し、ステークホルダーの皆さまの期待に応え続けることが必要であり、それができなければ、当社グループのサステナビリティも実現することは難しいと考えています。

少子高齢化に伴う住宅着工戸数の減少により、当社グループの事業環境は、今後より一層厳しさを増していくでしょう。しかし、当社グループはこれまでも厳しい市場環境の中、パーフェクトシルキーをはじめとした高付加価値製品を生み出すことで、製品単価を向上させ、増収・増益を実現してまいりました。今後も「安心・安全・快適」のテーマを軸に、「環境」や「健康」など時代のニーズに応じたテーマを取り入れたものづくりを行うことで、サステナビリティを実現していく考えです。

来年には新たに技術研究棟が竣工する予定です。ここでは、環境負荷低減に向けて、新技術・新素材を活用した製品開発を行うとともに、技術開発スピードと精度を向上させていくことで、さら

## トップメッセージ

なる製品の付加価値向上を目指します。また、他社と連携した製品開発も今後の重要なテーマです。自社技術と他社技術を掛け合わせることで、付加価値向上の可能性も大きく広がると考えています。

### ーリアルとデジタルを融合させたマーケティングの進化ー

時代のニーズに応える製品を開発するためには、市場の動向やお客様の声を的確に捉え、製品の魅力を正しくお伝えするマーケティング活動も、当社グループにとって非常に重要なテーマです。これまで以上に代理店と連携した「リアル店舗」による販促活動を取り組むとともに、若年層を中心としたお客様の購買行動の変化を踏まえ、会社HPやInstagramといった「デジタル」を活用したマーケティングを強化し、メーカーとして更なる需要の創出を行っていく必要があると考えています。今後はリアルのPRとデジタルのPRの両面から、マーケティング活動を進化させていく方針です。

## 3. 社員の家族まで幸福になる経営を目指す

### ～人的資本経営の強化に向けて～

当社グループの人的資本経営の基本的な考え方は、経営基本方針の1項目である、「会社の繁栄と社員個人の幸福が一致する経営を行う。」にあります。この方針をしっかりと実践することが、当社グループにとっての人的資本経営のあるべき姿と考えています。

また、「社員だけでなく、その家族まで幸せになる経営を目指していく」というのが私の強い思いです。社員本人、そして家族のためにも、「心身の健康」は第一に考えており、ワークライフバランスの最適化に向けた取り組みを強化しています。

人的資本経営の強化に向けて、新卒採用の強化や社員の定着率向上に向けた対応は喫緊の重要課題であり、採用や育成、配置等の組織体制のあり方を根本から見直す必要性を感じています。

社員の定着に向けては、働く上での不安を取り除くことが重要です。これまででは社員へキャリアのロードマップを十分に示せておらず、結果として将来に対する不安を抱える社員も少なくなかったと認識しています。今後は会社としてキャリアのロードマップを描き、研修等でもしっかりと社員をフォローすることで、安心感とビジョンを持って仕事をしてくれる方が一人でも増えてくれることを願っています。



社員の育成に向けては、中堅社員向けの研修や、キャリア採用向けの研修にも注力していきます。キャリア採用向けの研修に関しては、入社された方の不安を取り除き、定着に繋げる観点からも重要であると考えています。

また適材適所の配置を行い、組織に良い循環を作ることも必要であると考えています。

「多様性」という観点では、従来より女性社員の活躍推進に向けた体制整備に力を入れてきました。例えば、設計事務所やコーディネーター等のお取引先に対する営業活動にあたって、「セールスサポート」という職種を設け、女性社員が活躍する場を広げています。直近では管理職に就く女性社員も出てきており、今後も一人でも多くの女性社員が活躍してくれることを期待しています。

## トップメッセージ

### 4. 販売体制・生産体制のさらなる強化

当社グループでは全国に支店や営業所、ショールームを展開し、地域密着型の販売体制を構築しています。製品販売だけでなく、施工やアフターサービスまで対応できる点がお客様にとっての安心や便利さに繋がると考えるためです。一方で、インテリア製品をお客様のもとにお届けするためには、全国の代理店の存在が欠かせません。当社のビジネスモデルにおいて、代理店は重要なステークホルダーであり、代理店との共存共栄を図ることが、サステナビリティの観点からも非常に重要なテーマだと考えています。

また、生産拠点の老朽化対策や生産・物流の効率化を目的として、中長期的に拠点整備を進めています。拠点整備により、働きやすい職場環境を整備することで、生産性の向上と原価低減にもつなげたい考えです。今後はより長期的な投資計画を策定し、計画的に拠点整備を進めていきたいと考えています。



2023年5月 関東支店移転・関東ショールーム開設

### 5. グループシナジーの拡大に向けた取組み

「タチカワブラインドグループ」としての成長を実現するため、子会社の富士変速機とのシナジー拡大に向けた取組みを強化しています。例えば、ブラインドなどを扱う室内外装品関連事業と、機械式立体駐車場を扱う駐車場装置関連事業では、「建物」を対象に営業を行う点が共通点です。事業間での情報共有やクロスセルを図ることで、これまで以上にシナジーを創出できるのではないかと考えています。

また、「製品の付加価値向上を通じてお客様のニーズに応える」という、ものづくりの方向性は3つの事業すべてに共通しています。昨今では、駐車場装置関連事業はEV対応、減速機関連事業は省人化・省力化対応のニーズが高まっています。特に減速機関連事業では、室内外装品関連事業と同様に、規格品ではなくオーダー品に注力していくことで、お客様のニーズに応えていきたいと考えています。

室内外装品関連事業、駐車場装置関連事業、減速機関連事業のすべてが「よりお客様に喜んでいただきながら、利益を出せる事業にしていきたい」というのが、私の思いです。

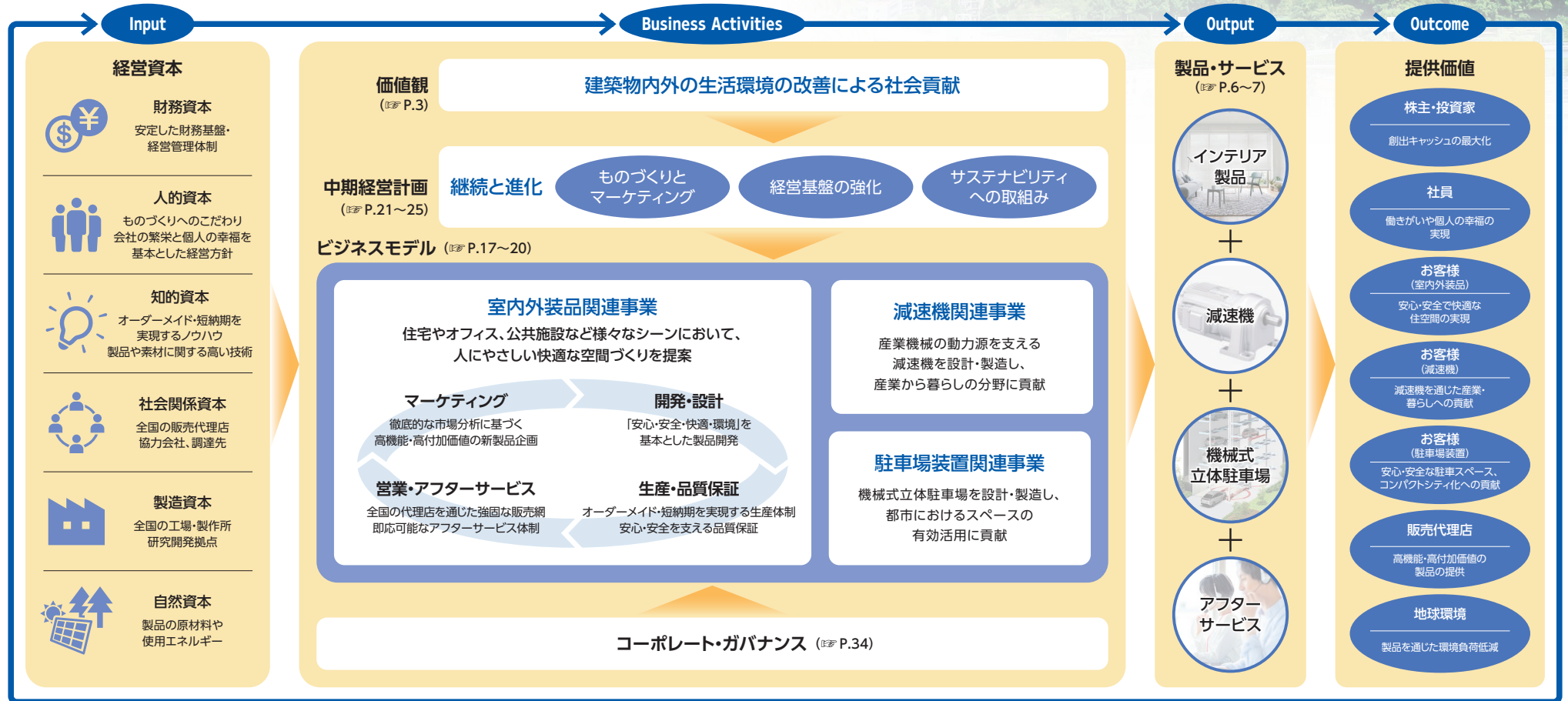
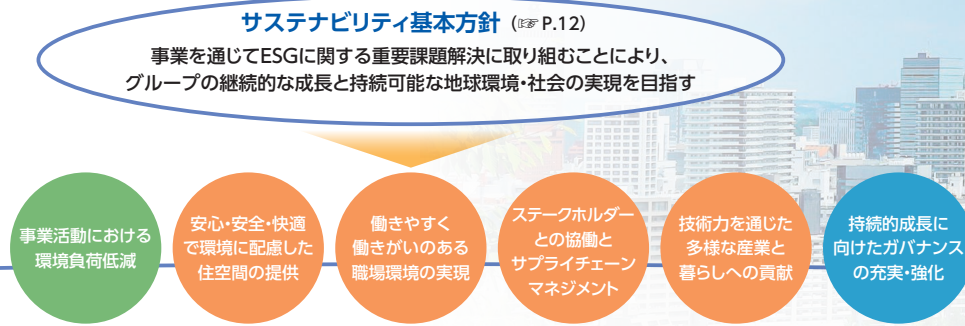
### 6. さらなる高みを目指して ～サステナビリティ経営の推進～

当社グループでは、2023年2月にサステナビリティ委員会を設置し、同年3月にはサステナビリティ基本方針とマテリアリティ(重要課題)を設定するなど、サステナビリティ経営の推進に向けた体制整備を着実に実行してまいりました。一方で、中期経営計画との整合性をとることが、今後の課題となっており、サステナビリティへの取組みを具体化していくことで、両者の整合性を図っていきたいと考えています。この取組みの具体化にあたっては、現場の社員たちが「サステナビリティ」を自分事として捉え、自主的にアイデアを提案し、実行できるような体制を築くことが大切だと考えています。そのような体制を構築するためにも、委員会の役割は特に重要と考えており、委員会を中心としたグループ全体のサステナビリティ推進を機能させていきます。

最後になりますが、タチカワブラインドグループは、今後も事業を通じてE(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)に関するマテリアリティ(重要課題)の解決に取り組むことにより、グループの継続的な成長と持続可能な地球環境・社会の実現を目指してまいります。今後ともステークホルダーの皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 価値創造プロセス

当社グループは「建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する」の価値観のもと、室内外装品関連事業、駐車場装置関連事業、減速機関連事業の3つの事業および製品・サービスを通して、ステークホルダーの皆さまに価値を提供しています。中期経営計画で掲げたビジョン「継続と進化」をテーマに、今後も時代のニーズに応じながら、家庭・企業・都市の中に次代の生活文化を創造することで社会に貢献します。



リスクと機会 (P.16)

# サステナビリティ基本方針・サステナビリティ推進体制

当社グループは、2023年2月にサステナビリティ委員会を設置し、その後3月にサステナビリティ基本方針の策定やマテリアリティの特定、TCFD提言に基づく情報開示を行いました。サステナビリティ委員会を中心としたグループ全体のサステナビリティ経営の推進に向けた体制整備を行っております。当社グループのサステナビリティに関する基本的な考え方は以下のとおりです。



## ■ サステナビリティ基本方針

タチカワブラインドグループは、事業を通じてE(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)に関する重要課題解決に取り組むことにより、グループの継続的な成長と持続可能な地球環境・社会の実現を目指します。

### E(環境)

タチカワブラインドグループは、人にも環境にもやさしいものづくりを追求し、事業活動における環境負荷低減を推進いたします。

### S(社会)

タチカワブラインドグループは、人々の安心・安全・快適な暮らしや産業社会の発展、都市問題の解決に貢献する各事業を通じて、会社の繁栄と社員個人の幸福が一致する経営を目指します。

### G(ガバナンス)

タチカワブラインドグループは、持続的成長に向けて、グループガバナンスをさらに強化し、すべてのステークホルダーにとって透明性・信頼性の高い経営に努めます。

## ■ サステナビリティ情報開示

TCFD提言に基づく情報開示、SDGs達成に向けた取り組みについては会社HPIにて開示を行っております。詳細は当社ホームページよりご確認ください。

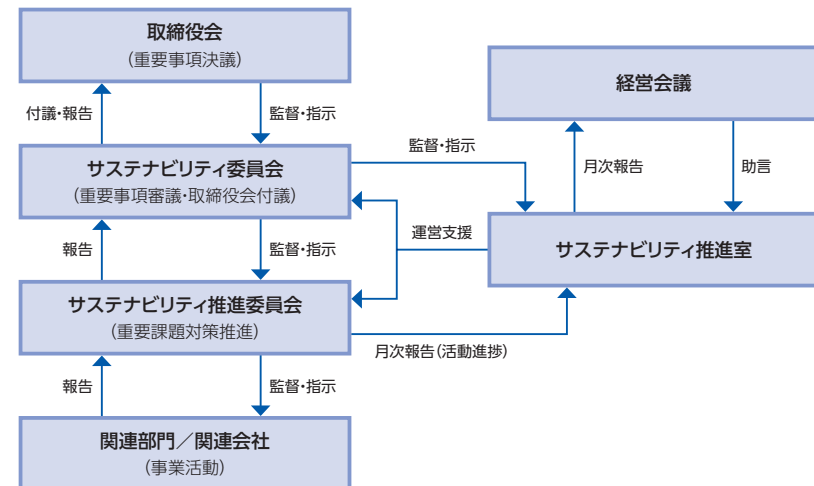
## ■ サステナビリティ推進体制

当社グループでは、サステナビリティに関する基本方針や重要課題(マテリアリティ)の特定、重要課題に基づく目標設定等の重要事項の審議を行うため、取締役会の諮問機関としてサステナビリティ委員会を設置し、年2回以上の頻度で実施しています。

サステナビリティ委員会は、社長を委員長とし、委員は各本部長により構成されております。重要課題への取組を推進するため、サステナビリティ委員会の下にサステナビリティ推進委員会を設置し、それらの運営支援のためサステナビリティ推進室を設置しています。

サステナビリティ委員会はサステナビリティ推進委員会と連携し、当社グループに関連するリスク、機会の特定と評価、対応策検討と推進を行います。サステナビリティ推進室はサステナビリティ推進委員会の運営を支援するとともに、重要課題への取組状況をとり纏め、月次で経営会議に報告し、助言を受けています。

サステナビリティ推進委員会での検討結果はサステナビリティ委員会に報告され、サステナビリティ委員会での検討内容は年2回以上、取締役会に報告されています。



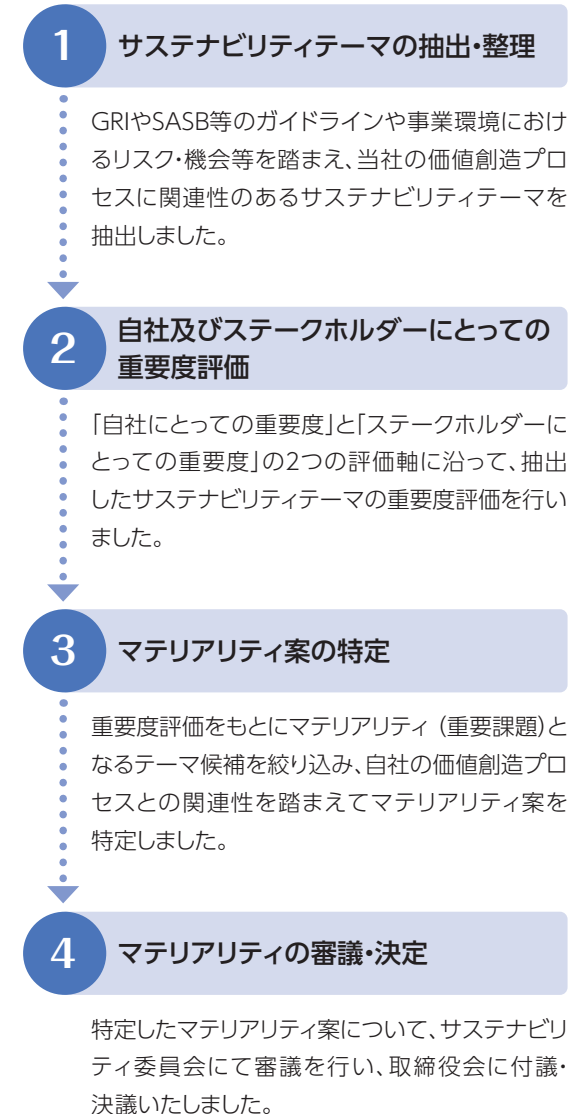
# マテリアリティ

当社グループは、サステナビリティ基本方針を踏まえ、重点的に取り組む課題として、6つのマテリアリティ(重要課題)を特定しました。マテリアリティの解決に取り組むことにより、グループの継続的な成長と持続可能な地球環境・社会の実現を目指してまいります。

## ■ マテリアリティ(重要課題)

ESG	マテリアリティ	マテリアリティの特定背景	貢献するSDGs
E (環境)	事業活動における環境負荷低減	気候変動をはじめとする環境問題が世界的に喫緊の課題となる中、事業活動における環境負荷低減は企業としての責務であると考えています。当社グループでは環境に配慮した製品開発や事業活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量削減の取り組みのほか、オーダーメイドを基本とした製造体制により無駄な廃棄物を出さないことを意識しています。今後も持続可能な社会の実現に向けて、事業活動における環境負荷低減を行うことは、当社グループにとっても重要課題の一つと考えています。	     
S (社会)	安心・安全・快適で環境に配慮した住空間の提供	当社グループは創業以来、布製や木製のブラインドの販売から歩みはじめ、今日では窓まわりの製品のみならず、間仕切りや電動製品などさまざまなインテリア製品の提供を通じて、人々の暮らしをより快適にする空間づくりの提案を続けてまいりました。時代の変化とともに健康や環境、安全・安心に対する人々の意識がますます高まる中、継続的なマーケティング活動と製品開発強化を行い、常にお客様に安心・安全・快適で環境に配慮した製品を提供し続けることが、当社グループにとっての重要課題の一つと考えています。	  
	働きやすく働きがいのある職場環境の実現	当社グループは経営基本方針の一つに、「会社の繁栄と社員個人の幸福の一致」を掲げており、ものづくりを行うメーカーとして、「人」こそが価値創造の源泉と考えています。そのため、社員の育成や多様性の促進、健康経営の推進といった人的資本に関する取組みをさらに強化することは当社グループにとって重要課題の一つと考えています。	  
	ステークホルダーとの協働とサプライチェーンマネジメント	当社グループの事業活動は、原料調達から販売に至るまでのサプライチェーン全体において、代理店や取引先をはじめとする多くのステークホルダーの皆様を支えられて成り立っています。原材料の世界的なひっ迫や価格高騰が続く中、ステークホルダーの皆様と協働し、適切なサプライチェーンマネジメントを追求することは重要課題の一つと考えています。	 
	技術力を通じた多様な産業と暮らしへの貢献	当社グループの減速機関連事業及び駐車場装置関連事業は、子会社の富士変速機が保有する減速機(ギヤードモータ)の技術力を基盤として、産業分野から暮らしの分野におけるあらゆるお客さまの課題解決に貢献しています。今後も技術力を強みとして、お客様の理想をカタチにし、産業社会の発展と人々の暮らしに貢献することは重要課題の一つと考えています。	  
G (ガバナンス)	持続的成長に向けたガバナンスの充実・強化	当社グループでは、コーポレート・ガバナンスの強化を重要な経営課題と認識し、経営効率を高め、グループ全般の重要事項に関する適切かつ機動的な意思決定に対応できる経営管理組織の充実に向けて努めております。今後も持続的成長に向けて、ガバナンスの充実・強化を図ることは重要課題の一つと考えています。	 

## ■ マテリアリティの特定プロセス



## マテリアリティの目標・KPI

特定した6つのマテリアリティごとに目標・KPIを設定し、サステナビリティの取組みを推進しています。これらのマテリアリティを軸に事業活動を推進し、社会課題を解決することで、持続的な社会と企業の成長につなげていきます。

ESG	マテリアリティ	マテリアリティ詳細	目標(あるべき姿)	主なKPI
E (環境)	事業活動における 環境負荷低減  主な取組み ▶ P.26~27	● GHG 排出量30%削減	Scope1、2について、2030年度に2021年度比で30%削減する	● GHG排出量
		● 資源の有効活用、廃棄物の削減	製造拠点における廃棄物リサイクル率95%以上を継続し、資源の循環を図る	● リサイクル率
			製品製造段階の廃棄量を削減し、CO <sub>2</sub> 排出量削減に貢献する	● 製造段階における廃棄物総排出量
S (社会)	安心・安全・快適で 環境に配慮した 住空間の提供  主な取組み ▶ P.28~29	● 環境の変化や時代のニーズに応じた マーケティング	デジタルを活用したマーケティング体制を構築し、販売促進強化と事務生産性の向上を図る	● デジタルを活用した販売促進
		● 環境配慮型製品の開発	安心・安全・快適を基本とした製品を市場導入する	● 環境配慮型製品の開発体制の構築と市場導入
	技術研究棟を活用し、建築物の省エネに繋がる製品の研究開発やノウハウの蓄積、サステナブルな製品の開発をスピーディーに推進・市場導入できる体制を構築する			
	働きやすく働きがいのある 職場環境の実現  主な取組み ▶ P.30	● 人材の育成	研修や資格取得支援の内容見直し、新規企画実行により、人材の育成を図る	● 研修実施回数 ● 研修受講者数
		● 社員の多様性拡大(ダイバーシティ)	再雇用社員や地域限定社員の見直し、新規企画実行、女性社員の積極活用により社員の多様性拡大を図る	● 女性管理職比率 ● 男性育休取得率
		● 健康経営の推進	ワークライフバランス向上、健康管理強化により、社員の活力と健康増進に繋げる	● 年次有給休暇取得日数 ● 定期健康診断受診率 ● ストレスチェック受検率
		● 職場環境の整備	社員が安心して働ける環境の整備や制度の新規導入および既存制度の加入拡大を図る	● 団体長期障害所得補償保険(GLTD)加入率

※マテリアリティ及びマテリアリティに基づく目標・KPIについては、今後サステナビリティ委員会にて定期的に見直し、取り組んでまいります。

# マテリアリティの目標・KPI

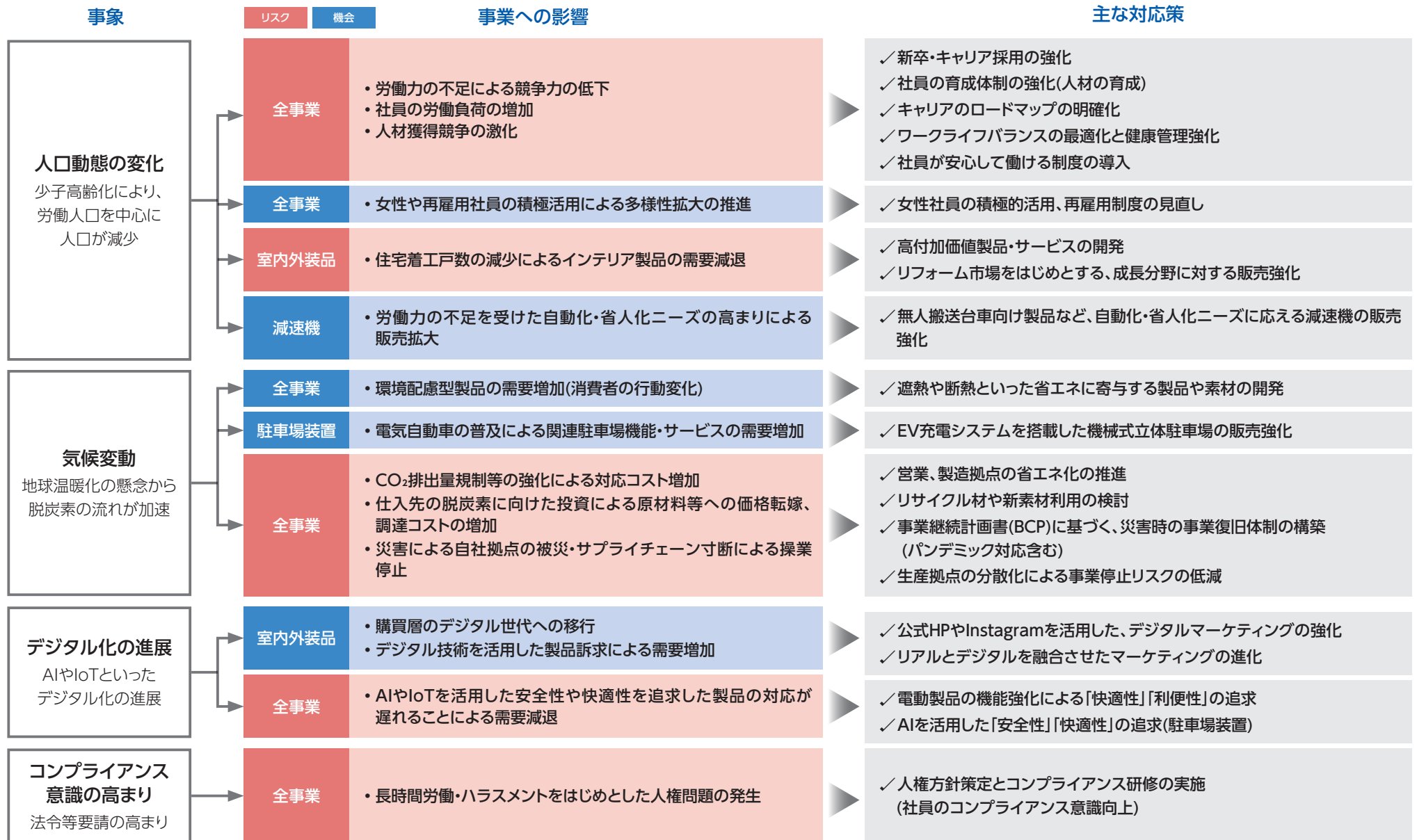
ESG	マテリアリティ	マテリアリティ詳細	目標(あるべき姿)	主なKPI
S (社会)	ステークホルダーとの協働 とサプライチェーンマネジメント  主な取組み ▶ P.31	● 取引先との関係強化	外注委託先(製品製造)および工事業者(製品取付)の事業承継状況を正確に把握し、 適時・適切な対応・連携を行い、事業の安定性・持続性の向上を図る  当社製品の付加価値を訴求(環境・社会課題解決製品)し、取引先での当社製品の 取扱いを拡大する	・事業承継アンケートの実施  ・新製品発表会・展示会を通じた環境 配慮型製品の訴求
		● 個別製品強化による多様な産業と暮らしへの 貢献	少子高齢化進展に伴う社会課題の解決に貢献する個別減速機を提供し、持続 可能な社会発展に貢献する	・社会課題解決に貢献する製品の 市場導入
	技術力を通じた多様な産業 と暮らしへの貢献  主な取組み ▶ P.32	● 駐車場装置利用者の安全性や快適性の追求	駐車場装置への安全性と快適性を追求し、付加価値提案の強化を図ることで、利用 者の安心・安全・快適性の向上を図る	・保守・改造業者への立会指導回数
		● 電気自動車(EV)の普及への対応	脱炭素施策であるEV車シフトを踏まえた駐車場装置の開発・改良により、車両の 多様化に対応できる製品を提供する	・EV車対応機能の市場導入
		● サステナビリティ情報の積極的開示	投資家をはじめとした様々なステークホルダーに当社のサステナビリティへの 取り組みを定期的にわかりやすく発信し、投資家からの持続的経営支援体制の 強化を図る	・英文開示対応
	G (ガバナンス)	持続的成長に向けたガバ ナンスの充実・強化  主な取組み ▶ P.33	● ステークホルダーとのエンゲージメントの 強化	投資家との対話の機会を定期的に設け、企業認知度の向上を図る
● プライム市場上場維持基準の達成・維持			プライム市場上場維持基準を、毎年末確実に達成する	・1日平均売買代金 ・流通株式時価総額
● コンプライアンスの強化			社員のコンプライアンス意識を高め、違反や不正の起きない組織風土を醸成する	・コンプライアンス研修の実施

※マテリアリティ及びマテリアリティに基づく目標・KPIについては、今後サステナビリティ委員会にて定期的に見直し、取り組んでまいります。



# リスクと機会

当社グループでは、「人口動態の変化」や「気候変動」、「デジタル化の進展」、「コンプライアンス意識の高まり」を事業に大きな影響を与える事象として認識しています。持続的な成長に向けて、各事象が事業に与える影響(リスクと機会)を特定し、対応策を講じています。

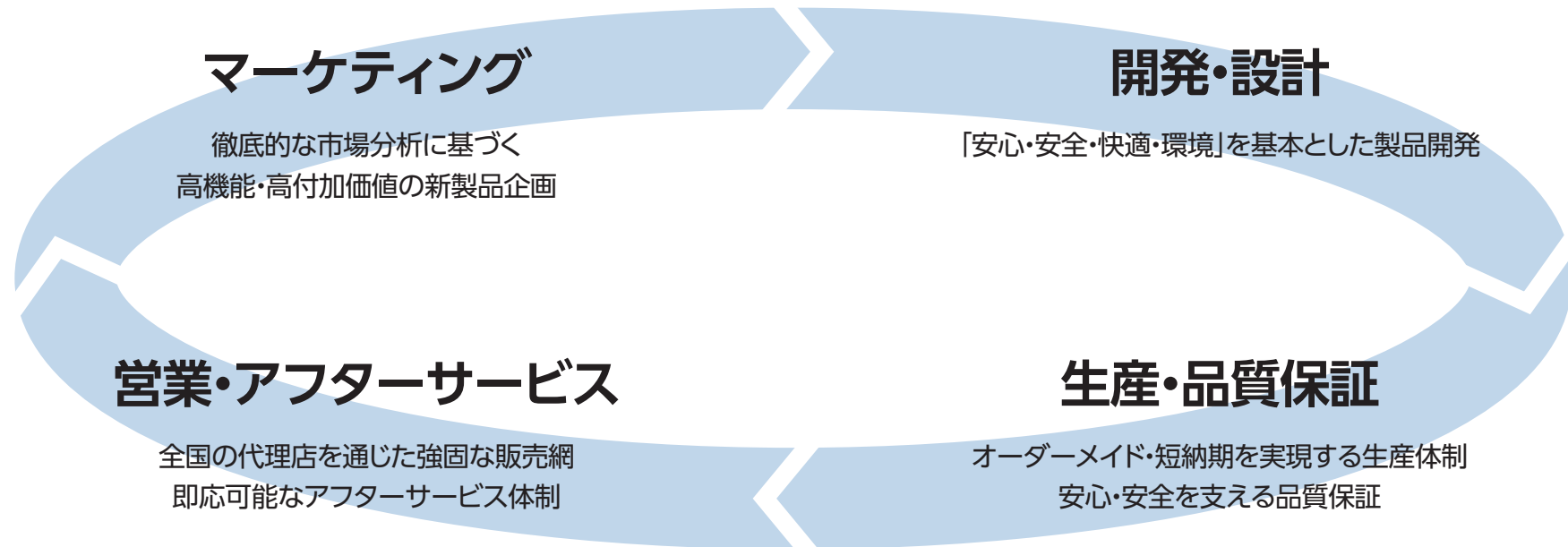


## ビジネスモデル(室内外装品関連事業) 1/2

室内外装品関連事業では、ブラインドや間仕切り製品を通じて、住宅やオフィス、公共施設など様々なシーンにおいて、人にやさしい快適な空間づくりの提案を行っています。多品種・短納期のオーダー生産体制と地域密着型の事業展開により、お客様のニーズにきめ細く対応している点が、当社のビジネスモデルの強みです。また、「安心・安全・快適・環境」を基本とした製品開発を行っており、近年では健康も重要なテーマと考えています。

### ■ 室内外装品関連事業のバリューチェーンと強み

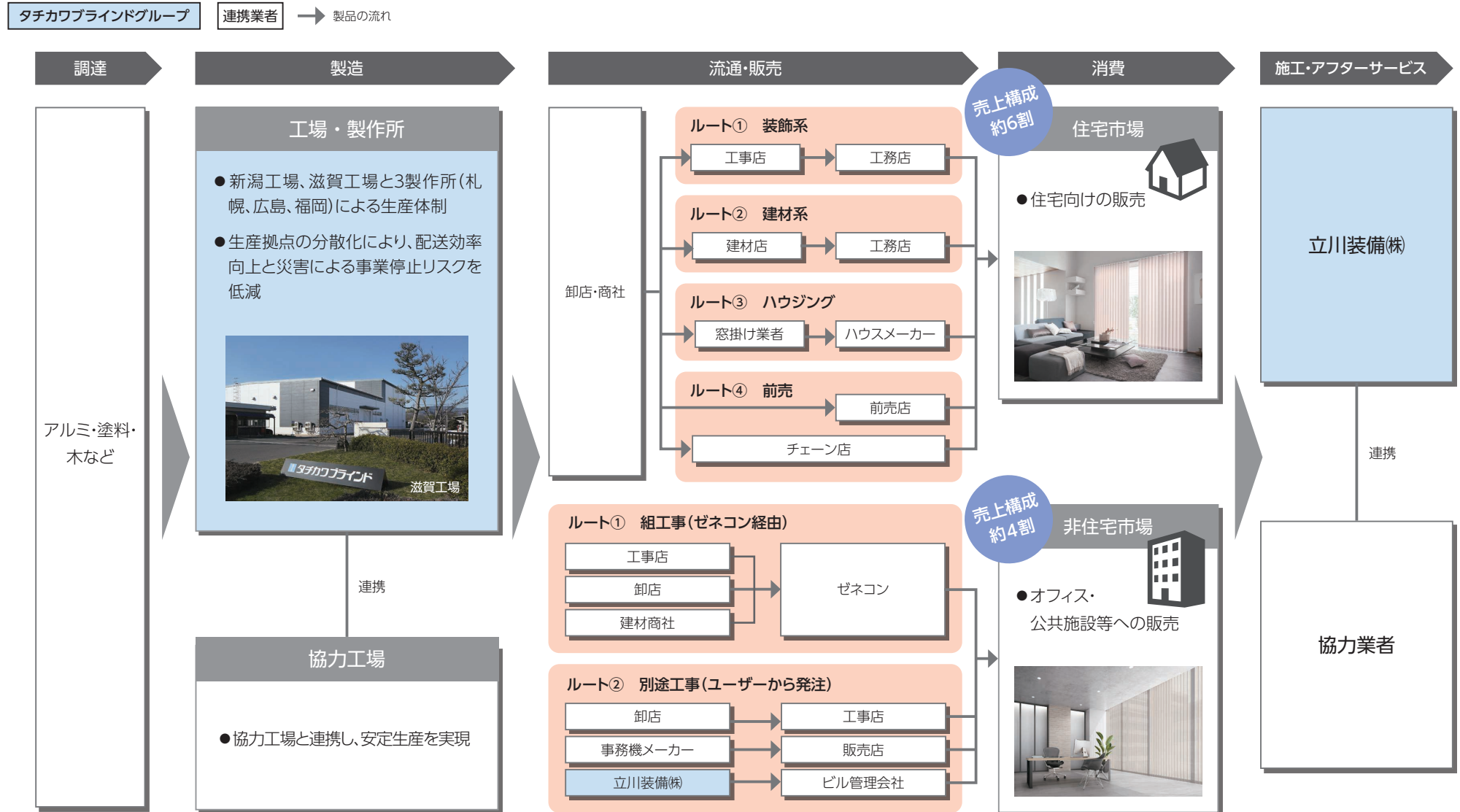
強み① 時代の要請に応えた、高機能・高付加価値な製品の提供	強み② 多品種・短納期のオーダー生産	強み③ 地域に密着したきめ細やかな事業展開
<p>関連する機能 <b>マーケティング、開発・設計、営業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 徹底した市場分析と営業がキャッチしたお客様の生の声に基づく、時代の要請に応えた製品の企画</li> <li>✓ 「安心・安全・快適・環境」に加え「健康」をテーマとして、高機能・高付加価値な製品を企画</li> </ul>	<p>関連する機能 <b>生産・品質保証</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ オーダーメイド・短納期を実現する生産体制                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 全国オンラインでのオーダー受注生産システムを使用した、半製品の計画生産と部品の適正在庫管理により、短納期での製品生産体制を実現</li> <li>▶ 全国5拠点の生産体制により、配送効率向上と災害による事業停止リスクを低減</li> </ul> </li> </ul>	<p>関連する機能 <b>営業・アフターサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 全国の営業所(71拠点)や、ショールーム・ディスプレイスペース(国内12拠点)を活用した、地域に根差した販促活動の実施</li> <li>✓ 立川装備(株)や地域の施工業者と連携した、即応可能なアフターサービス体制</li> </ul>



## ビジネスモデル(室内外装品関連事業) 2/2

室内外装品関連事業の販売先は、住宅市場と非住宅市場に大別されます。各市場において複数の販路を持ち、エンドユーザーの多様な購買動機に対応可能である点が、当社の商流の特徴です。また、卸店・商社や工事店、ゼネコン等のステークホルダーは、当社のビジネスモデルにおいて欠かせない重要な存在です。

### ■ 室内外装品関連事業の商流

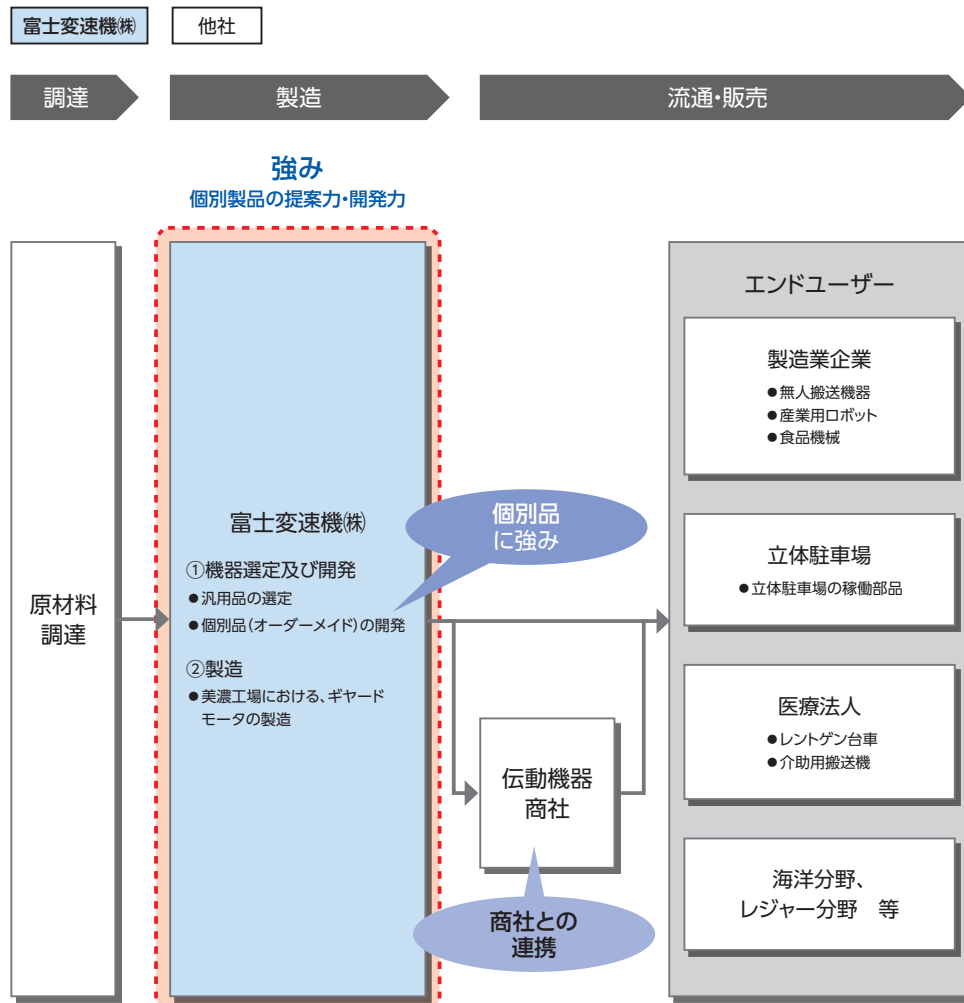


# ビジネスモデル(減速機関連事業)

減速機関連事業では、産業機械の動力源を支える減速機を設計・製造し、産業分野から暮らしの分野まで幅広い分野で世の中に貢献しています。

「お客様の理想をカタチに」という企業理念のもと、オーダーメイドの減速機にもひとつひとつ対応していく技術力を強みとし、近年は、工場の生産システム自動化(FA)ニーズの高まりを受け、産業用ロボットや無人搬送台車などの駆動部分、医療・介護分野の機器等における減速機の需要が高まっています。

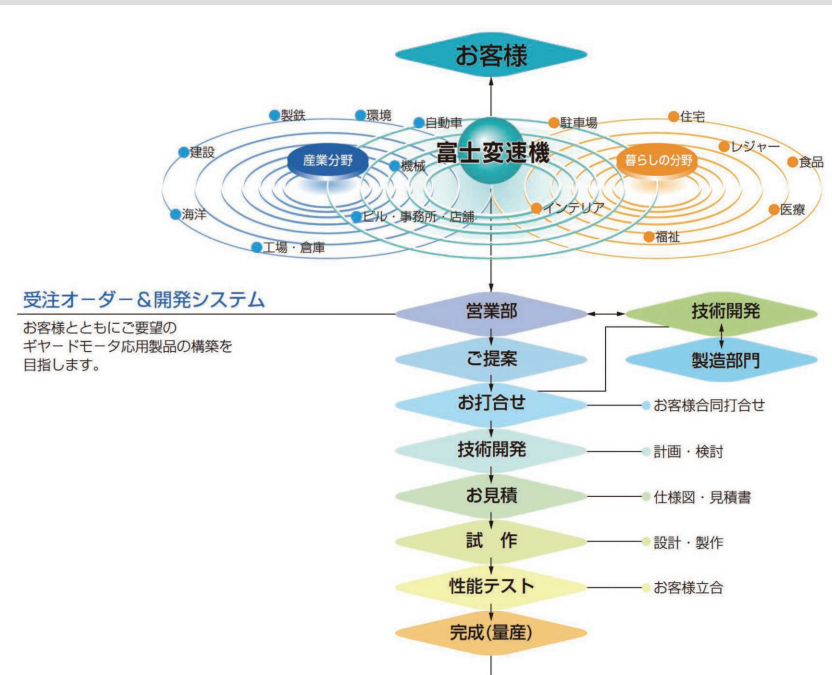
## 減速機関連事業の商流



## 減速機関連事業の強み

### 強み1 個別製品の提案力・開発力

「お客様の理想をカタチに」する、オーダーメイド製品の提案力・開発力が当社の強みです。



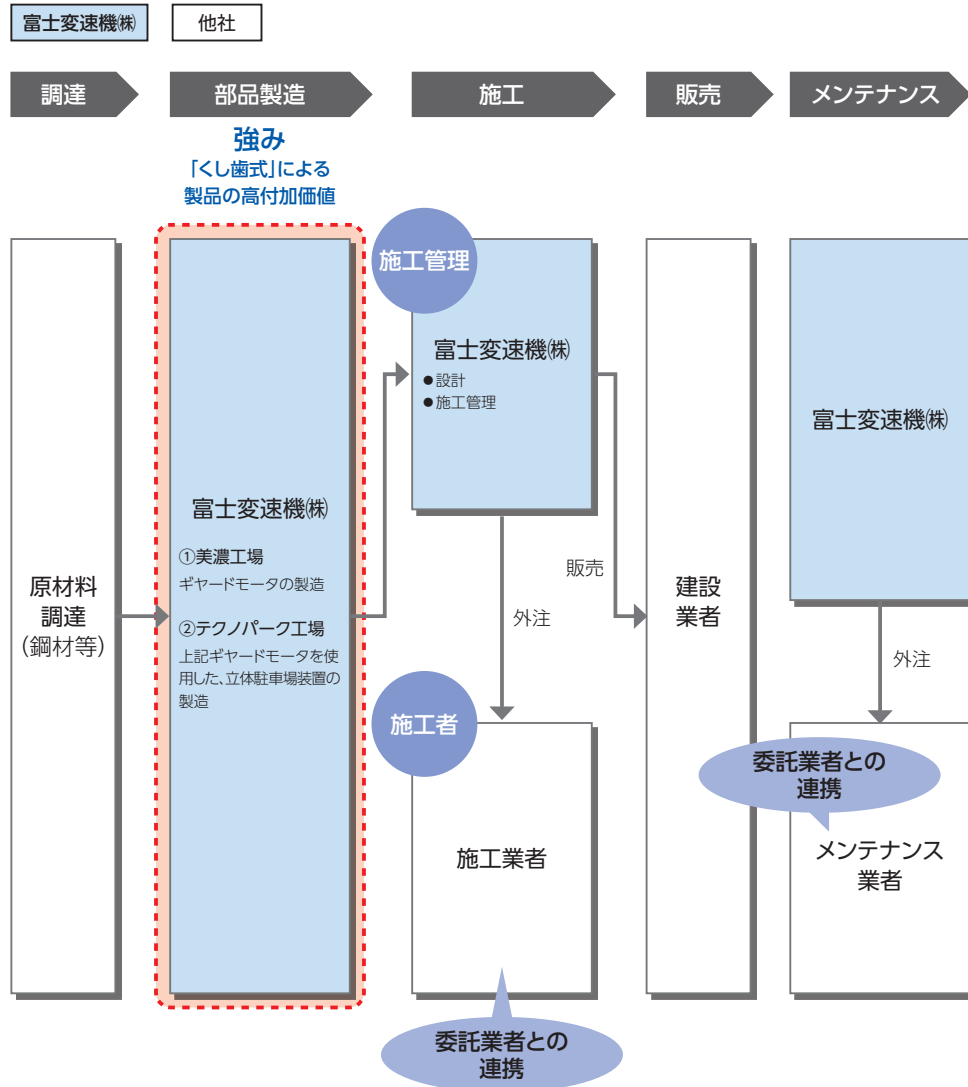
### 強み2 事業の安定性=客先の裾野の広さ

当社の減速機は、産業分野から暮らしの分野まで幅広い分野で使用されていることから、景気に左右されにくく、安定した収益基盤の構築に貢献しています。

# ビジネスモデル(駐車場装置関連事業)

駐車場装置関連事業では、限られたスペースを有効活用し、複数の車を駐車できる機械式立体駐車場を設計・製造しています。独自技術の「くし歯式」により、入出庫時間の短縮化や耐震性・安全性の向上、消費電力の削減を実現し、機動性と安全性が高い環境配慮型の駐車場を生み出しています。近年は、都市再開発の駐車場建て替え需要や、海外観光客の増加によるホテル併設の機械式立体駐車場の需要が高まっています。

## ■ 駐車場装置関連事業の商流



## ■ 駐車場装置関連事業の強み

### 強み 「くし歯式」による製品の高付加価値化

- くし歯式は、車を乗せる「トレイ」の形状が歯のような形状となっている点が特徴です。
- これにより、「昇降リフト」と「横行トレイ」間の車の移動がスムーズになります。

### 「くし歯式」と一般的なトレイ(パレット式)の違い

	くし歯式	パレット式
昇降	パレットレスのため、「昇降リフト」が乗り込み階で入出庫どちらにも対応可能	「昇降搬器」が空車/パレットを載せて乗込み階で入庫待機。出庫時は、空車/パレットを空駐車室へ収納後、対応
横行	「昇降リフト」と「横行トレイ」のくし歯の交差により瞬時に受渡し	「昇降搬器」が受渡し階に到着後、パレットを「スライド装置」により搬出
駐車室形状	くし歯型トレイを各層で駆動	パレット形状で昇降搬器のスライド装置により横行

### くし歯式のトレイ受渡し 入庫時



1. リフトは空き駐車室の上段に自動的に停止します。
2. 空き駐車室のトレイがリフトの真下に移動します。
3. 昇降リフトの自動下降動作で車はトレイに乗り移ります。

### くし歯式の特長① 「昇降リフトの移動距離短縮」

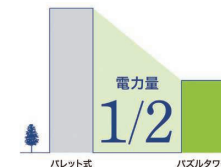
#### 強み① ハイスピード入出庫

- ✓ 利用者の利便性向上を望む施主(ホテル等)からの受注多数



#### 強み② 省電力

- ✓ 消費電力はパレット式の1/2  
→ エコメランニングコスト減



### くし歯式の特長② 「トレイの落下を防ぐ構造」

#### 強み③ 高耐震性

- ✓ 震災による車両の落下ゼロ  
(1995年 阪神淡路大震災)  
(2011年 東日本大震災)

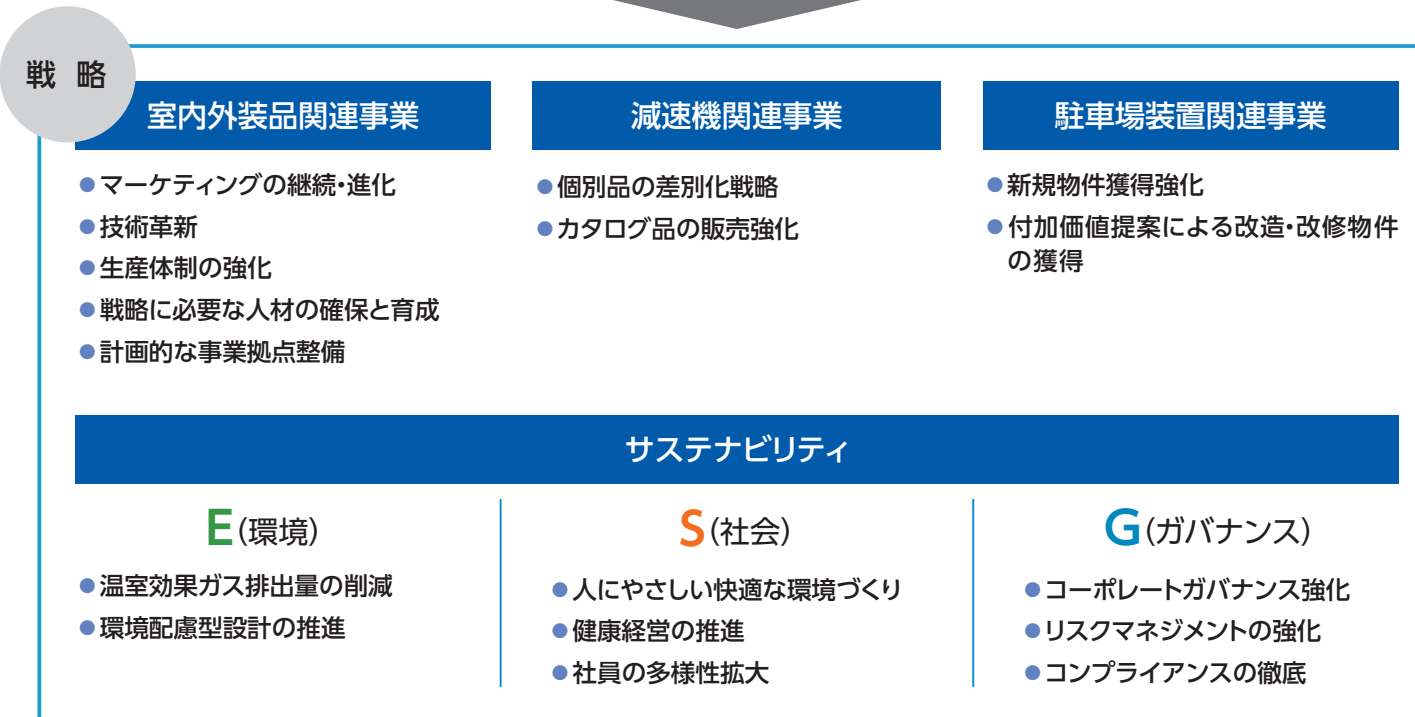
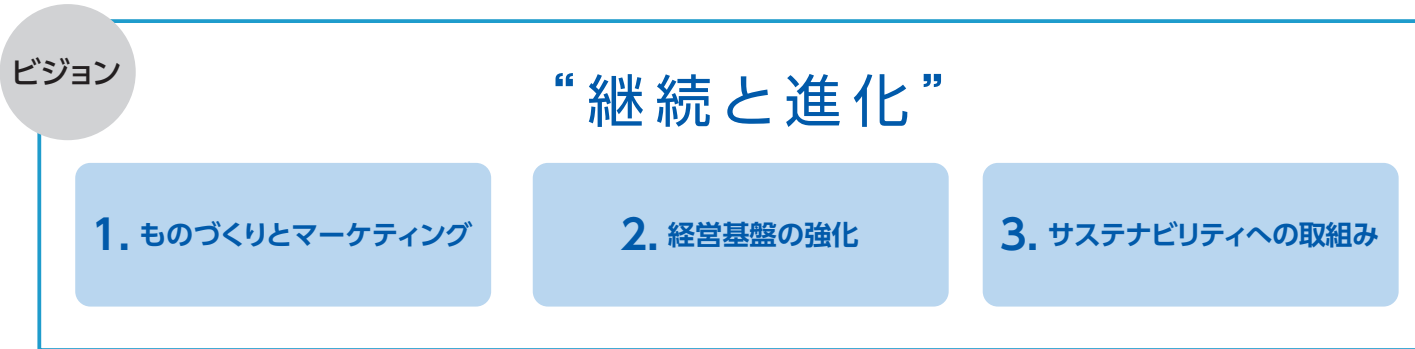


ローラーがトレイをガイド

## 中期経営計画の概要

当社グループの事業環境が大きく変化中、今後も安定した収益を確保できる事業体制の構築に向けて、中期経営計画「タチカワビジョン 2025 ～継続と進化～」を策定致しました。「建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する」という創業以来から大切にしてきた精神を継続しつつ、時代のニーズに応じて進化させるという想いから、新たに「継続と進化」というビジョンを設定しています。3つの基本方針に注力し、持続可能な社会の発展と企業価値向上に向けて、各取り組みを進めてまいります。

### ■ 中期経営計画「タチカワビジョン 2025 ～継続と進化～」の骨子



数値目標		
(億円)		
2022/12月期 (実績)		
売上高	413	
室内外装品関連事業	340	
減速機関連事業	38	
駐車場装置関連事業	35	
営業利益	38	
経常利益	40	
当期純利益	25	

(億円)		
2025/12月期 (目標)		2022年度比
売上高	445	+7.8%
室内外装品関連事業	371	
減速機関連事業	41	
駐車場装置関連事業	33	
営業利益	44	+15.1%
経常利益	46	+14.9%
当期純利益	29	+15.1%

# 事業戦略 室内外装品関連事業

当社グループの主力事業である室内外装品関連事業では、「マーケティングの継続・進化」、「技術革新」、「生産体制の強化」を三位一体として、企画・開発・生産・販促の強化に取り組んでまいります。また、経営基盤の強化に向けて、戦略に必要な人材の確保と育成、計画的な事業拠点整備を推進します。

## 1. マーケティングの継続・進化

創業以来のものづくり精神を継続し、時代のニーズに合わせたマーケティングで進化する

- ①「安心・安全・快適・環境」を基本とした製品開発と販売促進
  - ・安心、安全、快適に加え、環境にも配慮した製品開発と販売促進を強化
- ②電動製品、間仕切製品による新たな快適な住空間の提案
  - ・次の主たる製品となる電動製品、間仕切製品の市場占有に向けた基盤を構築
- ③デジタルマーケティングの強化と、リアルとデジタルを融合させたマーケティングの進化
  - ・代理店との取組み強化
  - ・4年ぶりに「新製品発表会」をリアル開催
  - ・ホームページを大幅にリニューアルし、コンテンツの充実やSNSでの発信、Web広告の強化等に注力
- ④利益体質強化に向けた基盤づくり
  - ・高付加価値製品の拡大

## 2. 技術革新

さらなる高機能・高付加価値化を目指して、当社独自の技術を革新する

- ①技術研究棟の新設と活用
  - ・2024年9月に竣工予定であり、新技術や新素材、新製法、新デザイン等 幅広く研究
  - ・環境負荷低減に貢献する製品開発
- ②メーカーとしての開発基盤強化
  - ・既存製品の機能向上
  - ・製品・部品の統合を図り、生産性の向上や在庫低減を推進
  - ・少材料化・軽量化

## 3. 生産体制の強化

最適な生産・物流体制を追求し、計画的な設備更新と拠点整備を行う

- ①生産拠点整備
  - ・生産・物流拠点の最適化を推進
  - ・2025年には、札幌製作所の移転と物流拠点の統合を計画
- ②拠点毎の生産品目の見直し
  - ・生産性や納期、運送コスト等の観点から、主力製品・電動製品・間仕切り製品の生産体制を最適化

## 1. 戦略に必要な人材の確保と育成

## 2. 計画的な事業拠点整備

<b>人材確保</b> ●新卒・中途採用の強化 等	<b>社員育成</b> ●キャリア採用向け研修強化 等	<b>多様性</b> ●女性管理職の増加 等	<b>健康</b> ●時間外労働削減/ 有給休暇取得率向上 等	<b>エリア マーケティング</b> ●全国支店営業所の最適化 (移転/統合等)	<b>働きやすい 職場環境</b> ●照明LED化の推進 ●リフォーム・建替え	<b>環境対策</b> ●太陽光発電装置の設置推進
------------------------------	--------------------------------	---------------------------	---------------------------------------	--	---	------------------------------

※2023年5月 関東支店・関東ショールーム開設

## 事業戦略 減速機関連事業・駐車場装置関連事業

減速機関連事業では、省人化・自動化ニーズや医療・介護市場の成長に対応すべく、当社の強みである個別品を軸として、開発と販売の強化に取り組んでまいります。駐車場装置関連事業においては、ホテル・マンションの建設需要の活性や環境意識の高まりに伴うEVシフトに対応すべく、さらなる利便性と安全性の向上を目指し、開発と販売の強化に取り組んでまいります。

### 減速機関連事業

省人化・自動化ニーズや医療・介護市場の成長に対応すべく、当社の強みである個別品を軸として、開発と販売の強化に取り組む

#### 経営環境

- (-) 工作機械市況はピークアウトの気配、材料は高止まり
- (+) 自動化需要が継続

#### 販売政策

- ① 個別品の強化**
  - ・ 物流倉庫・省人化設備等への開拓深耕
  - ・ 歯車加工、動力伝達技術の市場攻略
  - ・ 医療・介護分野の市場攻略

#### ② カタログ品の強化

- ・ 代理店強化、新規チャネル開拓

#### 開発項目

#### ① 個別品の展開

- ・ 無人搬送機向け開発、食品機械用拡充
- ・ 養殖用ギヤードモータ、階段昇降用ギヤードモータ

#### ② カタログ品のバリエーション拡大

### 駐車場装置関連事業

ホテル・マンションの建設需要の活性や環境意識の高まりに伴うEVシフトに対応すべく、さらなる利便性と安全性の向上を目指し、開発と販売の強化に取り組む

#### 経営環境

- (+) ホテル需要活性の兆し、高層マンション増加
- (+) GHG排出量削減によるEV車の増加

#### 販売政策

#### ① 高層パズルタワーの優位性訴求

- ・ 独自のくし歯式技術により、ハイスピード入出庫や低騒音・低振動、耐震性、省エネを実現

#### ② 既存保守物件への付加価値提案

- ・ 保守メンテナンス時におけるお客様への付加価値提案

#### 開発項目

#### ① オートゲートクローズシステム

- ・ 自動ゲートシステムの開発による安全性と快適性の向上

#### ② WEB出庫システム

- ・ 離れた場所でもスマホ等で出庫予約が可能。出庫の待ち時間を削減

#### ③ EV充電拡充

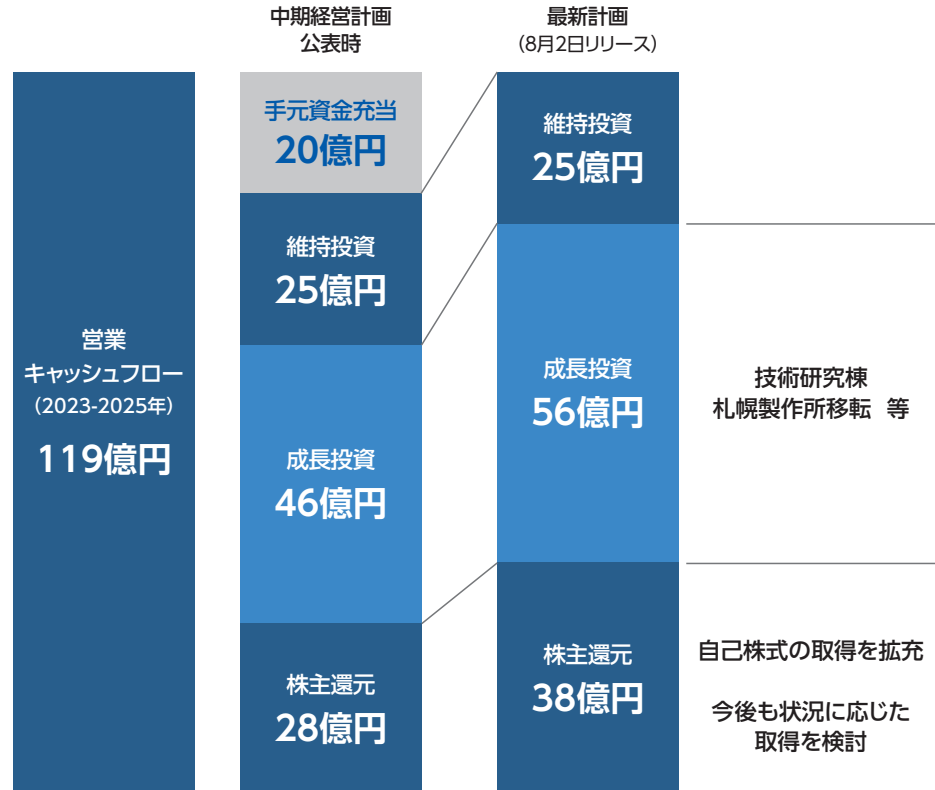
- ・ 立体駐車場におけるEVの充電インフラを提供し、脱炭素社会に貢献



# 財務資本戦略・IR戦略

## ■ キャッシュアロケーション

2023年から2025年までの連結営業キャッシュイン119億円を原資に、株主還元と成長投資を強化する方針です。なお、社内の最新の計画を踏まえ、2023年2月21日に公表した中期経営計画のキャッシュアロケーションの内容を一部見直しました。



### 今後の主な投資計画

2024年 竣工予定 技術研究棟 【投資額：8億円予定】  
2025年 竣工予定 札幌製作所 【投資額：18億円予定】

## ■ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

PBRの改善は当社の重要な経営課題の一つと認識し、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を進めています。2023年8月2日公表の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」では、東京証券取引所の要請に基づき、当社の現状分析とPBR改善に向けた対応策を開示しています。

**現状分析**

- 当社のPBRは0.5~0.6倍程度、ROEは2022年12月末実績で5.8%

$$0.5 \sim 0.6 \text{ 倍} \text{ PBR} = 5.8\% \text{ ROE} \times 8.5 \sim 9.5 \text{ 倍 PER}$$

- ROEを分解すると、特に総資産回転率、財務レバレッジの水準が低く、資産の有効活用や株主還元等が課題

**対応策**

- 成長戦略・財務資本戦略(ROEの向上)
  - ✓ 主力事業の室内外装品関連事業のさらなる強化 [P.22 参照](#)
  - ✓ 現預金の有効活用や保有資産の売却、株主還元の強化 [P.25 参照](#)
- IR戦略(PERの向上) [P.25 参照](#)
  - ✓ 決算説明会や投資家向け説明会、IRミーティングの実施
  - ✓ サステナビリティの取組み強化や非財務情報等のIR情報の充実

※詳細については、2023年8月2日公表の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご確認ください。

# 財務資本戦略・IR戦略

## ■ 現預金の有効活用・保有資産の売却

### 滋賀工場に最新の塗装ラインを備えた塗装棟を竣工【投資額:33億円】

主力生産拠点の一つである滋賀工場に、最新の塗装ラインや自動倉庫を備えた塗装棟を新設し、2022年11月より本格稼働しました。

#### 主なポイント

1. 国内2拠点目となる塗装設備の導入
2. 塗装工程の省人化
3. 材料供給の効率化
4. 省エネ生産によるCO<sub>2</sub>排出量削減



※詳細は会社HPをご確認ください。 <https://www.blind.co.jp/news/details/139>

## 政策保有株式の売却

政策保有株式については、定期的に取り締役会で保有意義を確認しており、2020年の保有銘柄27銘柄から、現在14銘柄と縮減を進めています。今後も投資先との協議を含め、縮減について検討を進めてまいります。

## ■ IR活動の強化

### ステークホルダーとのコミュニケーション充実

- 決算説明会(上期、通期の年2回開催)
- 投資家向け説明会・IRミーティング
  - ✓ 機関投資家向け説明会、個人投資家向け説明会の実施
  - ✓ IRミーティングは、取材の都度個別に開催

### 開示情報の充実

- ホームページのIR情報充実
- サステナビリティ情報開示の強化  
(サステナビリティの取組み強化と非財務情報の積極的開示)

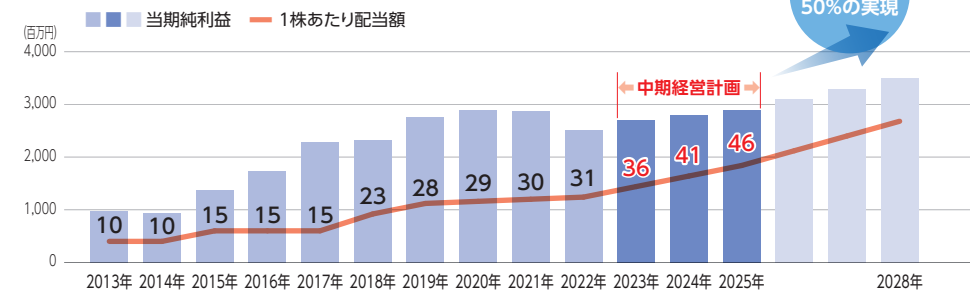
## ■ 株主還元強化

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、利益配分につきましては配当水準の維持または増配を継続することを基本方針とし、将来の事業展開と財務基盤の強化に必要な内部留保を確保しながら、安定・継続的な配当を行ってまいります。

### 株主還元方針

- 減配はせず、配当水準を維持 または 増配を継続
- 2023-25年の中期経営計画期間中は、**年5円増配**を継続
- 将来的には、増配を維持し、経営環境に応じ自己株式の取得を進めることで**総還元性向50%**の実現を目指す

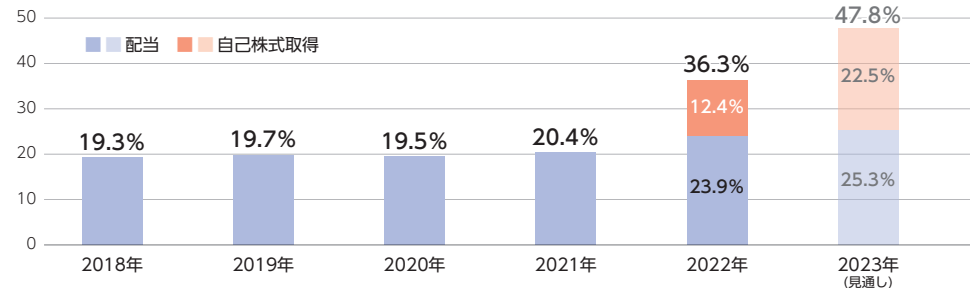
### 1株あたり配当



### 自己株式の取得による総還元性向の向上

2022年11月より、経営環境の変化に対応した機動的な株主還元策として自己株式の取得を実施し、総還元性向を向上させています。

### 総還元性向



# 環境(E)への主な取組み | 「事業活動における環境負荷低減」1/2

マテリアリティ 「事業活動における環境負荷低減」に基づく、環境への主な取り組みを紹介いたします。

## 環境への主な取組み >> ① TCFD情報開示

### ガバナンス

※サステナビリティ推進体制図については、P.12参照

- 当社グループでは気候関連問題への対応方針や施策の検討のため、取締役会の諮問機関としてサステナビリティ委員会を設置し、年2回以上の頻度で実施しています。
- サステナビリティ委員会は、気候関連問題の責任者である社長を委員長とし、各本部の本部長により構成されております。
- 気候関連問題への取り組みを推進するため、サステナビリティ委員会の下にサステナビリティ推進委員会を設置しています。
- サステナビリティ推進委員会での検討結果はサステナビリティ委員会に報告され、サステナビリティ委員会での検討内容は年2回取締役会に報告されています。

### 戦略

- 気候変動による事業インパクト分析を行い、特に当社事業への影響が大きく、発生の可能性が高いと想定されるリスク7項目と機会5項目を特定し、それぞれの対応策を検討しました。

### リスク管理

- サステナビリティ委員会はサステナビリティ推進委員会から報告されたリスクと機会を統合し、それぞれを発生可能性、影響度、対応策の有無などで評価し、重要度の決定、優先順位付けを行っています。

### 指標と目標

- 気候関連のリスクと機会を管理するための指標として、Scope1,2について、2030年度に2021年度比でGHG排出量30%削減とする目標を設定しております。
- 目標達成に向け、製造工程の省エネルギー化の推進、各事業拠点のLED照明への移行等による電気使用量の削減、営業車両の電気自動車等への移行をはじめとした具体的な取り組みを実施し、脱炭素社会の実現に貢献して参ります。

### <気候変動による事業インパクト分析>

想定されるリスク(気候変動影響)		事業インパクト	重要度	
移行 リスク	政策	CO <sub>2</sub> 排出量・省エネ規制強化	CO <sub>2</sub> 排出量規制等の強化により発電コストが割高な再生可能エネルギーの比率が高まることで、エネルギーコストの増加が想定される。	大
	技術	低炭素技術活用への移行	低炭素生産設備等への更新や太陽光発電の導入等、設備投資コストの増加が想定される。	大
	市場	原材料等調達価格の上昇	石油由来の燃料から電力や水素等の代替エネルギーへの切替や既存設備の更新等、仕入先の脱炭素に向けた投資により、原材料等への価格転嫁、調達コストの増加が想定される。	大
	評判	投資家の評判変化	環境対応への取組みが不十分な場合、企業のブランド価値が毀損し、投資家からの投資に悪影響(株価下落等)が生じる可能性がある。	中
環境配慮型製品の需要増加(消費者の行動変化)		環境配慮型製品の開発(環境対応)が遅れた場合、企業のブランドイメージに悪影響を及ぼす可能性がある。	大	
物理 リスク	急性	自社拠点の被災による操業停止 サプライチェーン寸断による操業停止	生産・販売拠点及び取引先・物流拠点で気象災害が発生し、営業活動や生産が滞る可能性がある。	小
	慢性	気象変動による原材料入手困難	気候変動により生物由来の原材料の調達に困難となることで、木部材などの仕入れコストの増加が想定される。	小

想定される機会(気候変動影響)		事業インパクト	重要度
資源効率	省エネの推進、廃棄物処理の効率化によるコストの減少	材料のロス率低減による廃棄物削減等を推進することで製造コストの減少が想定される。	中
	サプライチェーンの見直し 物流の効率化によるコストの減少	生産拠点毎の生産品目や物流拠点の見直しによるCO <sub>2</sub> 排出量削減に向けた輸送の効率化を推進することで、物流コストの減少が想定される。	中
エネルギー源	再生可能エネルギーの効率化、安定化によるエネルギーコストの低下	太陽光発電設備の導入等の再生可能エネルギーの利用拡大により、化石燃料価格の上昇リスクを低減することで、収益性が向上することが想定される。	小
	製品とサービス	環境配慮型製品の需要増加(消費者の行動変化)	遮熱や断熱といった省エネに寄与する製品や素材の開発など、環境の変化に対応した新製品の市場導入により、成長機会の獲得を図ることができると想定される。
レジリエンス	気象災害への対応策実施による被害の極小化	事業所や生産拠点の気候変動への対応推進により、気象災害に伴う被害の回避、復旧にかかるコストの極小化に繋がると想定される。	小

※TCFD提言に基づく開示内容の詳細については、会社ホームページをご確認ください。

## 環境(E)への主な取組み | 「事業活動における環境負荷低減」2/2

### 環境への主な取組み >> ② 技術研究棟の新設

当社の技術研究・開発機能を進化させ、人材の育成・確保および社外との連携による持続的な開発体制を築き、製品開発のスピードと質の向上により、将来を見据えた新たな価値の提供で需要を創造することを目的として技術研究棟を新設します。

#### 技術研究棟新設の目的

##### ① 開発スピードの向上

これまで複数拠点に分散していた研究・開発設備を集約し、作業スペースや各種設備の充実を図ることで、作業効率の向上や後戻りのない確実な品質評価・検証につなげ、開発スピードの向上を図る。

##### ② 開発力および開発の質の向上

快適な開発環境を整備し開発者の創造性を引き出すことで、新たな視点・発想により価値を創造する。また、社外との技術交流や、先進的な開発の社内取込により、技術ノウハウを蓄積し、開発力の向上と開発の質を高める。

##### ③ 環境に配慮した製品開発

高効率で省エネな設備機器を導入すると共に、建物の外壁や窓には断熱性を高めた建材を採用。建物全体の省エネによる環境負荷とランニングコストの低減を実現し、地球環境に優しい製品開発を行う。

##### ④ 当社製品の提案機会および機能性訴求の強化

実際の設置場所や使い方を想定した環境下で、施主や設計、ゼネコン等への製品提案が可能となり、当社製品の優れた機能性の訴求により受注獲得につなげる。

##### ⑤ 新技術開発への当社取組み

建築物の省エネやウェルビーイングに貢献する製品の研究開発および将来に向けた研究テーマへの取組み等、新技術や新素材、新製法を活用した研究開発への当社企業姿勢を社外へ示すことにより、企業価値向上と優秀な人材の確保へつなげる。

### 環境への主な取組み >> ③ ISO14001に基づく環境に配慮したモノづくり

環境にやさしい企業を目指して、立川ブラインド工業(株)の生産全5拠点と、富士変速機(株)の生産全2拠点で、ISO14001認証を取得し、その実効性を高めるために毎年内部監査と外部監査を実施しています。

また、ISO14001の運用による継続的な改善と、社員の環境に関する知識を高めることで、持続可能な環境に配慮したモノづくりに取り組んでいます。

##### ① 資源の有効活用、廃棄物の削減

再生利用の取り組みとして、樹脂成形部品の再生利用や使用済みシンナーの再利用、部材梱包資材の再利用など、産業廃棄物の分別およびリサイクルに努めています。また、生産効率を高めロス廃棄物の削減に取り組んでいます。今後も引き続きゼロエミッションを継続し、産業廃棄物の削減に取り組んでまいります。

##### ② 水質汚染の防止(環境法令遵守)

塗装ラインのある当社の新潟工場、滋賀工場では毎月工場排水の水質検査を実施しており、すべての水質項目(例えばCOD値:化学的酸素要求量、pH値:水素イオン濃度など)において、法定基準値内で水質を管理し、河川や湖沼、海などの水圏生態系保全に努めています。

#### ISO14001 取得拠点一覧 (カッコ内は取得年月)

##### ■ 立川ブラインド工業(株)

- 新潟工場 (2002年 9月)
- 滋賀工場 (2003年11月)
- 広島製作所(2017年 9月)
- 札幌製作所(2018年 9月)
- 福岡製作所(2019年 8月)

##### ■ 富士変速機(株)

- 美濃工場 (2007年5月)
- テクノパーク工場(2012年3月)

# 社会(S)への主な取組み | 「安心・安全・快適で環境に配慮した住空間の提供」1/2

マテリアリティ 「安心・安全・快適で環境に配慮した住空間の提供」に基づく、社会への主な取組みを紹介いたします。

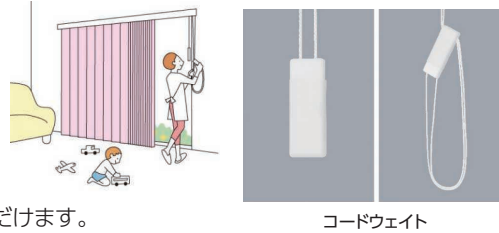
## 社会への主な取組み >> ① 安心・安全な製品の提供

### チャイルドセーフティー部品

お客様が、安全で快適にご使用いただけるよう、製品取扱いにおける操作部(操作コードやチェーンなど)の安全性向上を推進しています。

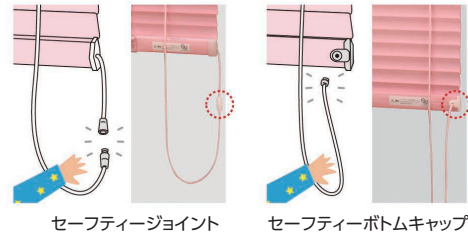
#### 事例① | コードウェイト

- 操作コードのたるみを抑える部品で、コード操作、ボタン・コード操作のラインドレープに標準装備。
- お子様の手の届かない高さに操作コードを束ねることができるため、安全にご使用いただけます。



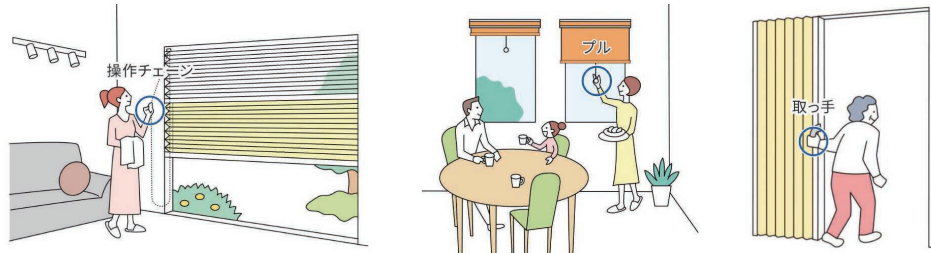
#### 事例② | セーフティージョイント・セーフティーボトムキャップ

- 小さなお子様の首や体に操作コードが引っ掛かっても、操作コードに6kg以上の負荷がかかると、ジョイント部が分離する仕組みの部品です。



### 抗菌・抗ウイルス対応

操作チェーンや取手など主に製品を操作する際に手を触れる部品や、生地・レザー等に抗菌加工や抗ウイルス加工を施しており、抗菌・抗ウイルス加工製品として「SIAAマーク※」を取得しています。



※SIAAマーク…(一社)抗菌製品技術協議会(SIAA)が制定した抗菌・抗ウイルス等のシンボルマークです。「抗菌性(抗ウイルス)」「安全性」「適切な表示」の3つの条件を満たした製品にSIAAマークが表示されます。

## 社会への主な取組み >> ② 快適な製品の提供

### 電動製品の提供

当社の電動製品はリモコンでの操作はもちろん、スマート家電リモコンと組み合わせることでスマートスピーカーやスマートフォンでの操作にも対応。お客様からご高齢の方までが安心・安全・快適にお使いいただけます。

#### 事例① | スマートスピーカーでの操作※

- 声による指示で製品の開閉・昇降の操作が可能です。複数ある窓や高所にある窓に最適です。

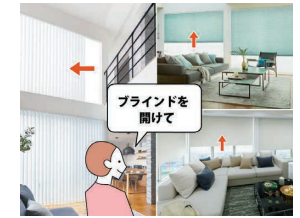
#### 事例② | リモコンでの操作

- リモコンにより、開閉・昇降の操作が可能です。
- 座ったままやベッドの中からリモコン操作ができるので、ご高齢の方にもおすすめです。

#### 事例③ | スマートフォンでの操作※

- スマートフォンにより、開閉・昇降の操作が可能です。
- 閉め忘れを防止できるため、外出が多い方にも安心してご利用いただけます。

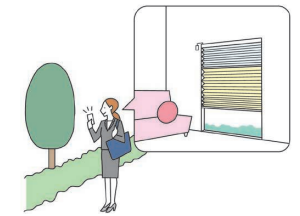
※使用環境を整えていただく必要があります。



①スマートスピーカーでの操作



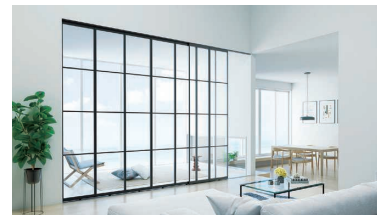
②リモコンでの操作



③スマートフォンでの操作

### インテリアデザインの追求

人にやさしい快適な空間づくりのため、機能性だけでなく、製品そのもののデザインにこだわるのはもちろん、製品がつくりだす空間のデザインまで追求した製品づくりに取り組んでいます。



## 社会(S)への主な取組み | 「安心・安全・快適で環境に配慮した住空間の提供」2/2

### 社会への主な取組み >> ③ 遮熱スラットや昼光利用による省エネ

#### 遮熱スラット・遮熱生地

外気の7割が窓をはじめとする、開口部から進入することから、窓まわり製品の遮熱性は、夏場のエネルギー使用量や電気代に直接影響します。

そのため、当社ではスラット(ブラインドの羽根)カラーにおいて、日射反射率を高め、日射熱の流入を抑制することで空調負荷を低減させる「遮熱コート」や不快に感じる眩しさを抑制し心地よい明るさの室内環境を実現する「グロスレス遮熱」をラインナップ。また、遮熱効果のある生地も展開しており、お客様の省エネ対策や社会全体の環境負荷低減に貢献しています。

#### 事例① | アルミ製ブラインド

スラット部分に遮熱加工を施しています。



#### 事例② | プリーツスクリーン

生地部分に遮熱加工を施しています。



#### 昼光利用による省エネ

当社では窓際でのまぶしさを抑制しつつ昼光利用する製品により、照明負荷を低減し、省エネに貢献しています。また、天候に応じて自動でスラットの角度を制御するシステムを独自開発しました。

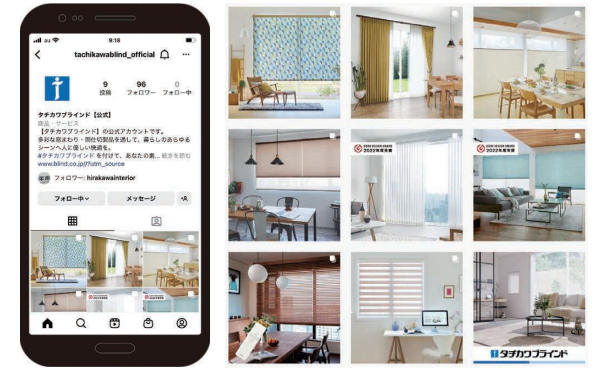


### 社会への主な取組み >> ④ デジタルマーケティングの強化

#### 公式インスタグラムの開設

当社では「デジタルマーケティングの強化」の取組みとして、タチカワブラインドInstagram公式アカウントを立ち上げました。

Instagramではさまざまな住宅の施工例画像とともに、窓まわりや間仕切製品の魅力をお届けしています。



#### 会社ホームページのリニューアル

当社では2022年10月に会社ホームページをリニューアルしました。新HPではデザインやページ構成の見直しを行うとともに、お客様の製品選びや当社製品の提案にご活用いただけるページを新たに追加しました。

#### ポイント① 使いやすさとデザインの改善

- ① デザインリニューアル
- ② マルチデバイス対応 様々な端末で快適に閲覧可能になりました。
- ③ 分かりやすいサイト構成 法人・個人向けにページを分割し、お探しの情報を見つけやすい構成になりました。

#### ポイント② 製品選びに貢献するページの新設

- ① マイルームシミュレーション 自分で撮影した空間画像に、製品を取り付けたイメージ画像が作れます。
- ② フォトギャラリー たくさんの施工例写真を閲覧できます。
- ③ 納まり寸法計算ツール 主要な製品の寸法を簡単に算出できます。
- ④ 省エネシミュレーション 主要な製品の省エネ効果を算出できます。

## 社会(S)への主な取組み | 「働きやすく働きがいのある職場環境の実現」

マテリアリティ 「働きやすく働きがいのある職場環境の実現」に基づく、社会への主な取組みを紹介いたします。

### 社会への主な取組み >> ⑤ 研修をはじめとする育成体制の充実

#### 新入社員研修 (対象者：新卒社員)

- 入社時研修：働く上で必要な心構えや知識スキルなどを指導・育成します。
- フォローアップ研修：入社時研修後、約半年が経過した11月に実施し、配属後の悩み・課題を同期で共有し、解決を図ります。



#### 階層別研修 (対象者：中堅社員)

- 対象者：昇格のステップアップを踏む段階で研修を実施します。
- 実施事項：コンプライアンスの遵守やハラスメント防止等の内容を含め、階層に応じて必要となる、知識や考え方の習得を図ります。

#### キャリア採用向け研修 (対象者：キャリア社員)

- 2023年度から、新たな取組みとしてキャリア社員向けの研修を開始予定です。
- キャリア採用向け研修の狙いは、下記のとおりです。
  - ① 業務に必要なスキル・知識の理解を深めること
  - ② 入社後の不安を取り除き、帰属意識を高めて定着に繋げること

今後の取組み

#### キャリアのロードマップの明確化

当社で働くことでどのようにキャリアを積み、成長していくかというキャリアのロードマップを示すことで、従業員が安心感とビジョンをもって仕事をできるような育成体制を構築してまいります。

### 社会への主な取組み >> ⑥ 女性の活躍推進

労働人口が減少する中で、多様性の拡大に向けた取組みは当社にとっても喫緊の課題です。具体的な取組みの一つとして、女性の活躍推進に向けて、新たな職種を設けることで活躍の場を広げています。

#### セールスサポート職の新設

- 設計事務所やコーディネーター等のお取引先に対する営業活動にあたって、「セールスサポート」という職種を新設しました。
- 直近では本職種から女性管理職が輩出されるなど、活躍の場が広がっています。

### 社会への主な取組み >> ⑦ GLTD(団体長期障害所得補償保険)制度

安心して働くためには、病気・けが等により働けなくなった場合でも、生活できる経済的基盤があることが重要です。当社では、就業障害が発生した際の所得補償保険の制度として「GLTD(団体長期障害所得補償保険)制度」を導入しており、会社が全社員(正社員・特別社員・契約社員・パート社員)の基本給の20%を補償します。また社員の家族の状況等に応じ、買増しできるオプション(20%・40%・60%の買増し)を用意し、加入を推奨しています。

#### GLTD制度のポイント

- ① 最長60才まで補償  
病気やケガが回復し職場に復帰できるまでの期間、最長で60才※まで補償されます。  
※正社員の定年延長者は最長62才
- ② 補償対象範囲  
病気やけがの発生が、就業中であっても、就業外であっても補償の対象となります。
- ③ 退職後も補償  
傷病が原因でやむを得ず退職する場合でも、傷病が継続し、収入が2割超減少する場合、減少割合に応じて保険金が支給されます。(最長60才まで)
- ④ 医療保険金との重複可  
疫病入院保険金など医療保険金については、重複して保険金が支給されます。また保険金は非課税です。

## 社会(S)への主な取組み | 「ステークホルダーとの協働とサプライチェーンマネジメント」

マテリアリティ「ステークホルダーとの協働とサプライチェーンマネジメント」に基づく、社会への主な取組みを紹介いたします。

### 社会への主な取組み >> ⑧ 新製品発表会の開催

「タチカワブラインド新製品発表会2023」を全国13会場で開催しました。

当発表会は2019年の実施以来、4年ぶりにリアルで開催する展示会となり、「これからの暮らしをかなえる」をテーマに、展示会の開催がなかった2020年～2022年の期間に発売された製品や、今後発売する新製品も含めて幅広く当社製品を展示し、『個性』、『新しい』、『機能』、『未来』、『便利』をキーワードに、多様化したニーズに応えるこれからの暮らしを提案しました。

#### 主な展示内容

- ヨコ型ブラインドのシルキー 新カラーラインナップのご紹介
- タチカワ製品でかなえる6つの個性、ライフスタイル提案
- 新しい窓まわり製品(参考出品)
- 電動製品のIoTでかなえる未来のスマートライフ提案
- 新しい空間をかなえる、省エネをかなえる間仕切り製品
- ニューノーマルをかなえる抗ウイルス・抗菌加工製品
- プロユース向け製品(非住宅製品)のご紹介
- 便利なデジタルコンテンツのご案内

# これからの暮らしを 新製品発表会 2023 かなえる



### 社会への主な取組み >> ⑨ ショールーム・ディスプレイスペースの設置

当社は、地域に密着したきめ細かな事業展開をしており、国内外の主要拠点13か所にショールーム・ディスプレイスペースを設置しています。

#### ショールーム・ディスプレイスペースでできること

##### ① インテリアをご提案

モデルルームではセレクトした家具や小物と合わせて、空間をコーディネート。スタイルのある窓辺づくりや、遊び心のあるカラーコーディネートなど、窓まわりだけにとどまらない、素敵なお部屋づくりのヒントがあります。

##### ② 気軽にご相談

窓まわりのことでお悩みのときは、お気軽にご相談ください。お客様のご要望を伺いながら、製品選びやカラーコーディネートをお手伝いいたします。

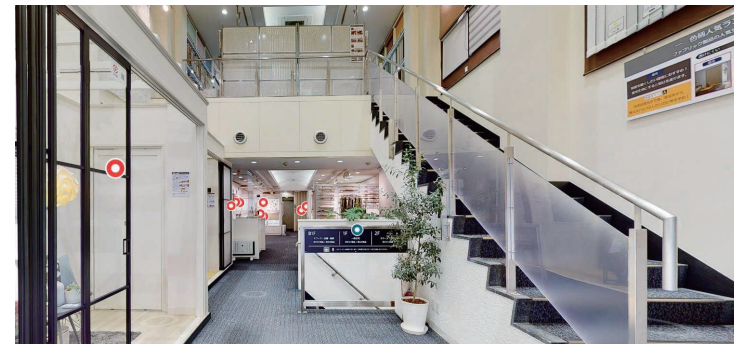
##### ③ 豊富なサンプルや生地見本

ブラインドからファブリック製品、間仕切りまでタチカワブラインド製品を一堂に展示。製品サンプルや生地見本を見て、触って、お気に入りのアイテムをお選びいただけます。

##### ④ 見て、触って、確かめて。

実際の製品に触れて、操作を体験してください。操作方法による使い勝手の違いも比較できます。また、生地によって異なる光の透け具合を体験していただける「テストイングウィンドウ」も全国のショールームで用意しています。

#### バーチャルショールーム



銀座のショールームを360度パノラマビューで、展示している製品をご覧いただけます。お近くにショールームがない場合にもお気軽にショールームを体感いただけます。





# 社会(S)への主な取組み | 「技術力を通じた多様な産業と暮らしへの貢献」

マテリアリティ 「技術力を通じた多様な産業と暮らしへの貢献」に基づく、社会への主な取組みを紹介いたします。

## 社会への主な取組み >> ⑩ 多様な産業と暮らしへの貢献

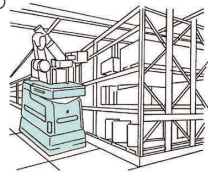
富士変速機では、歯車技術を応用した各種装置や機器を設計・製造しています。お客様とともにご要望のギヤードモータ応用製品の構築を目指します。

### 産業分野

#### ■ 工場：搬送台車用

##### スマートファクトリーに貢献。

無人化工場の生産ラインや自動倉庫などに使用される無人台車(AGV)の車輪駆動装置として使用されています。

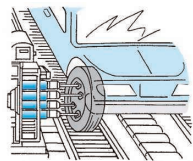


ココがポイント!  
低バックラッシュ  
低騒音で高速運転対応

#### ■ 工場：ナット締付用

##### 小形でハイパワー。

各種の自動組立システムを構成する産業ロボットの末端作動機能として使用されています。



ココがポイント!  
同心軸で小径  
コンパクトでハイパワー

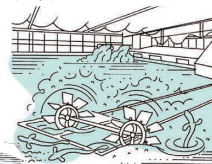
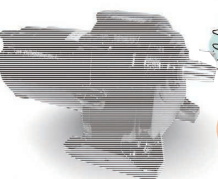


### 暮らしの分野

#### ■ 食品：養殖用

##### 24時間連続で運転。

養殖池の水車回転用に使用されています。強度面でも優れ、過酷な運転にも対応できます。



ココがポイント!  
防水仕様  
出力軸シール強化

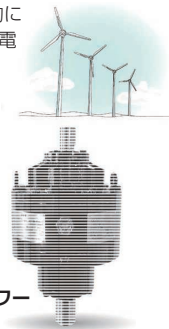
#### ■ 環境：小規模水力発電用

##### コンパクトで高強度 増速機。

再生可能エネルギーで永続的に利用が可能な、小規模水力発電システム用の増速機に使用されています。



ココがポイント!  
同心軸で小径  
コンパクトでハイパワー



## 社会への主な取組み >> ⑪ 利用者の安全性や快適性の追求

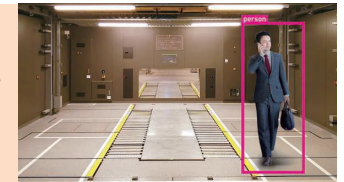
### オートゲートクローズシステム

AI画像処理により乗り込み口の安全確認を行い、自動でゲートを閉じるシステムを開発しました。これにより、安全性の向上と、快適性の向上を同時に実現しています。

#### Safety

##### 安全性

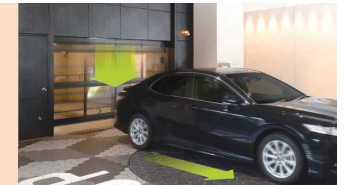
- ▶ AI画像処理によって、乗り込み口の安全を確認
- ▶ 自動開閉により、閉め忘れを防止



#### Speedy

##### 快適性

- ▶ ゲートの自動開閉により降車して操作する煩わしさを解消
- ▶ 出庫に要する時間を大幅に短縮



### バリアフリー対応(ウェルポート)

バリアフリー対応の立体駐車場「ウェルポート」は場内の段差が無く、車いすの方でも安全にご利用いただけます。

- 通路幅、段差、スキマ等厳しい基準をクリアした、バリアフリー認証取得の立体駐車場
- 車いすの方でも安心して使用可能
- 国土交通省認定取得済み



### EV充電システム

最新の立体駐車場「PUZZLE TOWER BEYOND」は全車室にEV充電システムを搭載可能です。EVの充電インフラを提供することで、社会の脱炭素化に貢献します。

- 全車室にEV充電システムを搭載可能
- 駐車時間を利用して手軽に充電可能

## ガバナンス(G)への主な取組み | 「持続的成長に向けたガバナンスの充実・強化」

マテリアリティ 「持続的成長に向けたガバナンスの充実・強化」に基づく、ガバナンスへの主な取組みを紹介いたします。

### ガバナンスへの主な取組み >> ①リスクマネジメントの充実・強化

#### 事業継続計画(BCP)の策定

大規模な災害が発生した場合でも、社員やその家族の安全確保、また当社の中核となる業務の早期復旧等を速やかに実行するため、事業継続計画を策定しています。

#### 情報セキュリティ

社内における情報セキュリティの理解・遵守を目的に、セキュリティーポリシーを作成し、さらに、セキュリティに対して、社員が行う具体的な行動をセキュリティースタンダードとして定めています。個人情報の観点では、個人情報保護方針を策定し、個人情報の取扱いの制限を設け、保護に努めています。



### ガバナンスへの主な取組み >> ②コンプライアンスの充実・強化

#### 社員教育の徹底・啓蒙

社内研修等を活用して社員教育・啓蒙を行うとともに、「タチカワブラインド倫理行動指針」や「法令遵守マニュアル」を社内イントラネットへ掲載し、周知徹底を図っています。また、顧問弁護士との連携強化や反社チェックの定期的実施等、コンプライアンスの強化に努めています。

#### タチカワブラインド倫理行動指針

私たちは、企業の社会的責任を自覚し、あらゆる企業活動において、すべての法令・社会的ルール及び社内規程を誠実に遵守するとともに、社会的良識をもって次のとおり行動します。

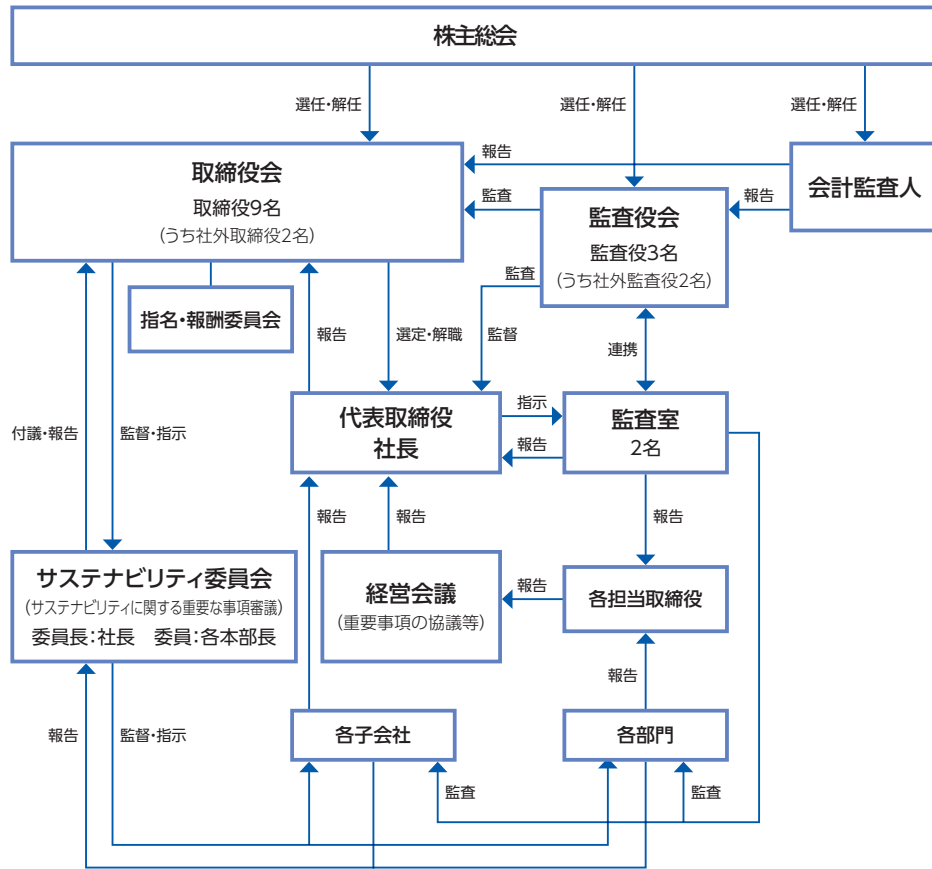
1. 私たちは、消費者・取引先の安心、満足、信頼を第一とし、安全で高品質な製品・サービスを提供すると共に、その品質・内容等を正しく表示、説明します。
2. 私たちは、すべての取引において法令を遵守し、公正で自由な競争を行います。
3. 私たちは、政治や行政との間において、健全かつ正常な関係を保持し、違法な政治献金、利益供与等を行いません。
4. 私たちは、消費者、取引先、株主、投資家等に対し、適宜適切に企業情報を提供します。
5. 私たちは、環境問題の重要性を認識し、資源の有効活用、省エネルギー化等により、環境負荷の低減に積極的に取組みます。
6. 私たちは、職場における社員の安全と健康の確保、快適な職場環境の形成に努めると共に、あらゆる企業活動において、全ての人の人格・人権を尊重します。
7. 私たちは、地域社会との交流を深め、広く社会貢献に努めます。また、国際化時代にあって、異なる文化的伝統や風習を尊重します。
8. 私たちは、社会秩序や企業の健全な活動に脅威を与える反社会的勢力や団体に対し、毅然とした態度で臨み、断固として対決します。

# コーポレート・ガバナンス体制

## コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社では、コーポレート・ガバナンスの強化を重要な経営課題と認識し、経営効率を高め、当社およびグループ全般の重要事項に関する適切かつ機動的な意思決定に対応できる経営管理組織の充実に努めております。

## コーポレート・ガバナンス体制



## 主な会議体の概要

当社は、監査役会制度を採用し、コーポレート・ガバナンスが有効に機能する体制づくりを進めております。また、2023年2月に「サステナビリティ委員会」を設置し、グループ全体のサステナビリティの取り組みを推進するとともに、2023年11月に取締役会の諮問機関として取締役の指名・報酬に関する事項についての妥当性を審議し、取締役会へ答申する「指名・報酬委員会」を設置いたしました。

主な会議体	概要
取締役会	取締役会は、代表取締役社長が議長となり、取締役9名(うち、社外取締役2名)で原則月1回、その他必要に応じて開催しており、会社の業務執行上の重要事項の意思決定ならびに業務執行状況の監督をしております。また、取締役の業務執行を監査するため、監査役全員が出席しております。
監査役会	監査役会は、監査役3名(うち、社外監査役2名)で構成されており、常勤監査役が議長を務め、原則月1回開催しており、客観的かつ独立した立場で取締役の職務執行を監査しております。監査役は、取締役会その他主要な会議に出席し意見を述べるほか、業務執行状況、財産状況の調査および監査を実施し、社内監査部門および会計監査人と連携を図り、コーポレート・ガバナンスの充実に努めております。
指名・報酬委員会	取締役の指名、報酬の決定等に係る手続きの公正性・透明性・客観性を強化し、コーポレートガバナンスの充実に図るため、取締役会の諮問機関として設置しております。 委員会は、取締役会の決議により選定された取締役および監査役である委員3名以上で構成し、このうち2名以上を社外役員とします。 また委員長は、指名・報酬委員会の決議により独立社外取締役の中から選定しております。
経営会議	取締役会および社長を補佐する目的で経営会議を原則週1回開催しており、取締役会に付議すべき事項について協議等を行っております。
サステナビリティ委員会	サステナビリティ委員会は、社長を委員長とし、委員は各本部長により構成されており、サステナビリティに関する基本方針や重要課題(マテリアリティ)の特定、重要課題に基づく目標設定、サステナビリティ関連の情報開示に関する事項等の審議を行い、審議結果を取締役会へ付議しております。また取締役会で決議・指示された事項の進捗管理およびモニタリングを実施し、定期的にと取締役会へ報告を行っております。

# 役員一覽

## 取締役



代表取締役会長 **立川 光威**

1976年 4月 当社入社  
 1996年 5月 当社代表取締役社長就任  
 1997年10月 有限会社立川恒産代表取締役社長就任(現)  
 2004年 6月 立川窗飾工業(上海)有限公司董事長就任  
 2022年 3月 当社代表取締役会長就任(現)



代表取締役社長 **池崎 久也**

1988年 4月 当社入社  
 2019年 3月 当社取締役営業推進部長就任  
 2021年 4月 当社常務取締役営業部門担当兼マーケティング本部長就任  
 2022年 3月 当社代表取締役社長就任(現)  
 2022年 5月 更生保護法人立川更生保護財団理事長就任(現)



取締役 **小野 寿也**

1988年 4月 当社入社  
 2019年 3月 当社取締役人事部長就任  
 2020年 3月 当社取締役管理本部長兼人事部長就任  
 2020年 9月 当社取締役管理本部長兼経理部長就任  
 タチカワサービス株式会社代表取締役社長就任(現)  
 2022年 3月 当社取締役管理本部長兼社長室長兼監査室管掌就任(現)



取締役 **立川 孟視**

2013年 4月 当社入社  
 2019年 7月 当社販売促進部長  
 2021年 4月 当社取締役販売促進部長就任  
 2022年 3月 当社取締役マーケティング本部長就任  
 2023年 3月 当社取締役技術本部長就任(現)



取締役 **佐藤 弘**

1983年 4月 当社入社  
 2021年 8月 当社執行役員製造本部長兼製造管理部長  
 2022年 3月 当社取締役製造本部長兼製造管理部長兼技術本部管掌就任  
 2023年 3月 当社取締役製造本部長就任(現)



取締役 **藤堂 孝夫**

1991年 4月 当社入社  
 2019年10月 当社東京支店長  
 2021年 4月 当社執行役員東京支店長  
 2023年 3月 当社取締役マーケティング本部長兼営業統括就任(現)



取締役 **田中 久晶**

1989年 4月 当社入社  
 2020年 2月 当社執行役員大阪支店長  
 2022年 3月 当社取締役大阪支店長就任  
 2022年 7月 当社取締役西日本営業担当兼大阪支店長就任  
 2023年 1月 当社取締役大阪支店長就任(現)



社外取締役 **宮本 實**

1978年 9月 警視庁警察官採用  
 2008年 8月 調布警察署長  
 2014年 3月 本所警察署長  
 2015年 8月 警視庁退職  
 2015年10月 三井不動産リアルティ株式会社調査役  
 2019年 3月 当社取締役就任(現)



社外取締役 **加藤 昌子**

2012年12月 東京弁護士会弁護士登録(現)  
 2020年 4月 南北法律事務所入所(現)  
 2022年 4月 東京弁護士会 子どもの人権と少年法に関する特別委員会副委員長(現)  
 2023年 3月 当社取締役就任(現)

## 監査役



監査役 **栗原 斉**

1983年 5月 当社入社  
 2018年 3月 当社取締役管理本部長兼人事部長就任  
 2019年 3月 当社取締役管理本部長兼情報システム部長就任  
 2020年 7月 当社取締役監査室長就任  
 2021年 3月 当社取締役退任、当社監査室長  
 2022年 3月 当社常勤監査役就任(現)



社外監査役 **芹澤 眞澄**

1991年 4月 東京弁護士会弁護士登録(現)  
 2017年 5月 東京都弁護士協同組合監事  
 2018年 4月 日本司法支援センター東京地方事務所副所長(現)  
 2020年 3月 当社監査役就任(現)  
 2022年 6月 (公財)日本医療機能評価機構代表理事 副理事長(現)



社外監査役 **齊藤 次郎**

1977年10月 警視庁警察官採用  
 2012年 2月 葛飾警察署長  
 2016年 9月 浅草警察署長  
 2018年 8月 警視庁退職  
 2018年10月 (株)ヤナセ総務部長付  
 2023年 3月 当社監査役就任(現)

## 主要財務データ(連結)

	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
<b>経営成績(百万円)</b>										
売上高	38,658	39,950	39,282	39,349	40,105	39,066	42,054	39,980	41,236	41,296
売上総利益	15,945	16,407	16,306	16,943	17,422	17,239	18,319	17,675	17,891	16,929
営業利益	1,895	2,263	2,553	2,867	3,643	3,675	4,379	4,535	4,557	3,822
経常利益	2,031	2,311	2,614	2,923	3,714	3,747	4,443	4,615	4,663	4,005
親会社株主に帰属する当期純利益	983	935	1,377	1,741	2,281	2,320	2,762	2,900	2,868	2,520
<b>財政状態(百万円)</b>										
総資産	45,559	46,985	48,281	49,165	51,448	53,046	56,381	57,779	60,687	62,586
純資産	32,364	33,052	34,712	35,526	38,001	39,578	42,197	44,432	47,173	48,632
<b>キャッシュ・フロー(百万円)</b>										
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,369	1,681	263	2,461	2,940	2,954	2,867	5,167	2,128	2,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△942	△818	△610	△362	△632	△868	△1,272	△1,124	△2,011	△3,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	△331	△331	△332	△415	△385	△395	△651	△653	△679	△1,064
現金及び現金同等物	8,965	9,530	8,848	10,517	12,442	14,126	15,065	18,456	17,927	15,978
<b>1株当たり情報(円)</b>										
1株当たり年間配当金	10	10	15	15	15	23	28	29	30	31
1株当たり当期純利益	50.52	48.07	70.79	89.50	117.23	119.25	141.96	149.04	147.40	129.74
1株当たり純資産	1,449.82	1,484.16	1,565.76	1,606.69	1,731.64	1,813.28	1,941.46	2,053.92	2,186.83	2,287.34
<b>財務指標</b>										
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	3.6	3.3	4.6	5.6	7.0	6.7	7.6	7.5	7.0	5.8
総資産経常利益率(ROA)(%)	4.5	5.0	5.5	6.0	7.4	7.2	8.1	8.1	7.9	6.5
自己資本比率(%)	61.9	61.5	63.1	63.6	65.5	66.5	67.0	69.2	70.1	70.1
株価収益率(PER)(倍)	10.2	14.0	11.0	9.9	12.4	9.0	9.2	8.4	7.7	8.7
株価純資産倍率(PBR)(倍)	0.35	0.45	0.50	0.55	0.84	0.60	0.67	0.61	0.52	0.49
配当性向(%)	19.8	20.8	21.2	16.8	12.8	19.3	19.7	19.5	20.4	23.9
<b>その他</b>										
研究開発費(百万円)	810	782	699	686	667	672	705	629	651	621
設備投資(百万円)	828	748	704	489	557	674	622	1,348	2,165	2,676
期末従業員数(人)	1,181	1,194	1,184	1,167	1,168	1,234	1,232	1,243	1,252	1,269

# ESGデータ (2022年12月31日時点)

## E(環境)

### 温室効果ガス排出量

項目	対象	単位	実績					備考
			2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
温室効果ガス(GHG)排出量 (Scope1&2)	連結	t-CO <sub>2</sub>	7,147	6,846	6,477	6,256	6,580	対象は、当社(オフィス、生産拠点、保養施設)及びグループ会社(オフィス、生産拠点)となります。

### 廃棄物(当社生産拠点5箇所)

項目	対象	単位	実績					備考
			2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
廃棄物総排出量	単体	kg	542,222	576,015	574,098	727,383	703,830	主な内訳は、産業廃棄物、リサイクル紙、段ボール、一般廃棄物、焼却ゴミとなります。
リサイクル率 (サーマルリサイクル含む)	単体	%	97.7	97.5	97.5	98.0	97.8	リサイクル回収不可の廃棄物(焼却ゴミ)を除いた廃棄物の割合となります。

## S(社会)

### 従業員

項目	対象	単位	実績					備考
			2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
従業員数	単体	人	1,092	1,062	1,067	1,065	1,068	
正社員	単体	人	788	782	790	798	808	
正社員以外	単体	人	304	280	277	267	260	対象は、定年後再雇用社員、契約社員、パート、その他社員となります。
男性従業員数	単体	人	631	609	590	589	591	
正社員	単体	人	572	555	544	542	542	
正社員以外	単体	人	59	54	46	47	49	対象は、定年後再雇用社員、契約社員、パート、その他社員となります。
女性従業員数	単体	人	461	453	477	476	477	
正社員	単体	人	216	227	246	256	266	
正社員以外	単体	人	245	226	231	220	211	対象は、定年後再雇用社員、契約社員、パート、その他社員となります。
正社員新規採用者数	単体	人	38	33	37	40	47	新卒採用者数(大卒、短大卒、高卒)となります。
正社員平均勤続年数	単体	年	18.7	19.1	18.9	19.0	18.4	
男性	単体	年	20.0	20.6	20.8	20.8	20.2	
女性	単体	年	15.4	15.3	14.7	15.1	14.9	
正社員平均年齢	単体	歳	42.4	42.5	42.3	42.5	42.0	
男性	単体	歳	43.4	43.9	44.0	44.1	43.5	
女性	単体	歳	39.6	39.0	38.5	39.3	39.2	

## 人材育成

項目	対象	単位	実績					備考
			2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
研修受講者数	単体	人	95	88	65	107	90	新入社員研修、階層別研修の受講者数となります。

## 従業員の多様性

項目	対象	単位	実績					備考
			2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
女性管理職者数	単体	人	2	2	2	2	2	
女性管理職比率	単体	%	1.25	1.27	1.20	1.20	1.23	
育児休業取得者数	単体	人	7	8	9	10	7	
育児短時間勤務取得者数	単体	人	21	20	22	23	24	
子の看護休暇取得日数	単体	日	137	139	153	139	162	取得者全員の年間累計取得日数となります。
男性育児休業取得率	単体	%	5.3	0.0	7.1	6.7	0.0	
障害者雇用率	単体	%	1.87	1.85	2.15	1.95	1.93	障害者雇用率は、定められた方法に従い算出しております。

## 健康経営の推進

項目	対象	単位	実績					備考
			2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
有給休暇平均取得日数	単体	日	8.9	11.3	10.4	10.2	10.6	
定期健康診断受診率	単体	%	98.1	98.0	98.7	98.6	98.3	
ストレスチェック受検率	単体	%	98.5	99.9	100.0	100.0	100.0	

## G(ガバナンス)

### 取締役数

項目	対象	単位	実績					備考	
			2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		
取締役数	単体	人	9	7	8	6	8		
社内取締役	男性	単体	人	8	6	7	5	7	
	女性	単体	人	0	0	0	0	0	
社外取締役	男性	単体	人	0	1	1	1	1	
	女性	単体	人	1	0	0	0	0	

# 会社概要

(2022年12月31日時点)

## 会社概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
代表者	代表取締役会長 立川 光威 代表取締役社長 池崎 久也
所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
創業 / 設立	創業:1938年(昭和13年)5月30日 / 設立:1947年(昭和22年)10月22日
資本金	44億7,500万円
従業員数	連結:1,269名 単体:808名 ※パート・契約社員等を除く
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種ブラインドの製造および販売ならびに設計施工</li> <li>2. 各種間仕切りの製造および販売ならびに設計施工</li> <li>3. カーテンレールその他建築材料の製造および販売ならびに設計施工</li> <li>4. 室内外装品の製造および販売ならびに室内外の設計施工</li> <li>5. ブラインド、間仕切、その他建築材料、および室内外装品等の輸出入販売</li> <li>6. 二段式駐車場装置の販売ならびに設計施工</li> <li>7. 前各号に付帯する一切の業務</li> </ol>

## 関連会社

社名	所在地	事業内容
富士変速機株式会社	岐阜県岐阜市中洲町18	変速機、減速機、各種駐車場装置等の製造、販売
立川機工株式会社	千葉県山武市松ヶ谷口2687	各種ブラインド、カーテンレール、間仕切及び部品の製造、販売
立川装備株式会社	東京都渋谷区代々木2-16-4	各種ブラインド、カーテンレール、間仕切の取付工事及び室内外装品の設計、施工、販売
立川布帛工業株式会社	新潟県五泉市今泉709-1	布製ブラインドの製造
滋賀立川布帛工業株式会社	滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	布製ブラインドの製造
タチカワサービス株式会社	東京都港区三田3-1-12	当社グループ内の各種業務受託
タチカワトレーディング株式会社	東京都港区三田3-1-12 立川ブラインド工業(株)本社ビル4階	ブラインド等の部品、資材及び製品の輸出入
立川窗飾工業(上海)有限公司	中華人民共和国上海市嘉定区葉城路1630号	各種ブラインド、間仕切等の製造、販売及び関連業務

## 事業所・ショールーム一覧

● 本社  
★ ショールーム・ディスプレイスペース  
■ 支店  
● 営業所  
▲ 工場  
▼ 製作所

新潟工場  
滋賀工場

銀座ショールーム  
本社

## ショールーム・ディスプレイスペース・支店/工場

銀座ショールーム 〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル Tel.03-3571-1373	名古屋支店・ショールーム 〒451-0066 愛知県名古屋市中区西区児玉3-4-4 Tel.052-532-5080
札幌支店・ショールーム 〒060-0063 北海道札幌市中央区南3条西12-325-3 Tel.011-231-8051	金沢支店・ディスプレイスペース 〒921-8015 石川県金沢市東力4-181 Tel.076-291-1146
仙台支店・ショールーム 〒980-0004 宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 Tel.022-275-1311	大阪支店・ショールーム 〒531-0071 大阪府大阪市北区中津2-3-5 Tel.06-6374-1800
関東支店・ショールーム 〒331-0815 埼玉県さいたま市北区大成町4-80-1 Tel.048-652-4211	高松支店・ディスプレイスペース 〒760-0080 香川県高松市木太町六区2662-1 Tel.087-837-2720
千葉支店 〒260-0044 千葉県千葉市中央区松波2-8-1 TKKビル1階 Tel.043-252-2821	広島支店・ショールーム 〒734-0023 広島県広島市南区東雲本町3-1-31 Tel.082-284-1412
東京支店 〒108-8334 東京都港区三田3-1-12 Tel.03-5484-6170	福岡支店・ショールーム 〒810-0074 福岡県福岡市中央区大手門1-4-5 Tel.092-751-5731
東京法人支店 〒108-8334 東京都港区三田3-1-12 Tel.03-5484-6160	新潟工場 〒959-2215 新潟県阿賀野市六野瀬783-1 Tel.0250-68-2731
信越支店・ディスプレイスペース 〒950-0813 新潟県新潟市東区大形本町1-2-23 Tel.025-270-8111	滋賀工場 〒529-1325 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1 Tel.0749-42-3300
横浜支店・ショールーム 〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通15 横浜朝日会館2階 Tel.045-662-0808	

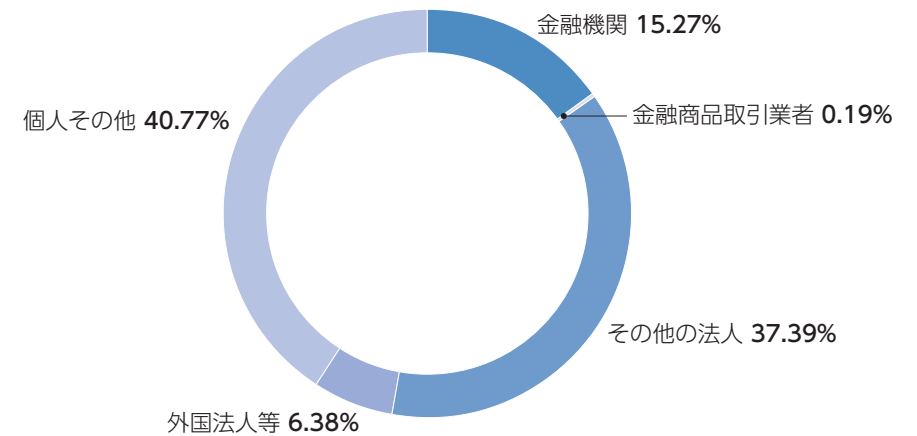
# 株式情報

(2022年12月31日時点)

## 株式情報

上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	7989
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式総数	20,763,600株
株主数	7,675名
配当基準日	12月31日(期末配当) 6月30日(中間配当)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告によります。 公告掲載URL: <a href="https://www.blind.co.jp/company/ir/others/epr/">https://www.blind.co.jp/company/ir/others/epr/</a> ※事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座管理機関	日本証券代行株式会社

## 所有者別持株比率 (単元未満株式を除く)



## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)※
有限会社立川恒産	4,117	21.47
タチカワブラインド取引先持株会	2,066	10.77
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,059	5.52
株式会社三菱UFJ銀行	503	2.62
立川 光威	498	2.60
株式会社りそな銀行	460	2.40
日本生命保険相互会社	373	1.95
天馬株式会社	304	1.59
タチカワ社員持株会	293	1.53

※上記のほか当社所有の自己株式1,583千株があります。





〒108-8334 東京都港区三田三丁目1番12号

<https://www.blind.co.jp/>